

資料

中学校国語科教科書で設定されている 学習の振り返り

菊 田 尚 人

本資料について

本資料は、平成28年度から使用されている中学校国語科教科書で設定されている学習の振り返りを整理し、一覧表にしたものである。教科書は東京書籍、光村図書、教育出版、学校図書、三省堂の5社の中学校1年生から中学校3年生までのものを用いた。なお、本研究では「振り返り」という共通の用語を使って整理しているものの、各教科書会社によってその記述のしかたは異なる。東京書籍は「学習を振り返ろう」、光村図書は「学習を振り返る」、教育出版は「目標と振り返り」、学校図書は読むことに関わる教材では「ついた力をたしかめよう」、話すこと・聞くことや書くことに関わる教材では「学習を振り返る」もしくは「学習を振り返ろう」という見出しがついている。また、三省堂は読むことに関わる教材では「目標」にチェック欄が設けられており、話すこと・聞くことや書くことに関わる教材では「学習を振り返る」と見出しがついている。本資料では、教科書に学習目標が明記されている教材を抽出し、それぞれの教材における上記の箇所の記述を「振り返り」と捉え、整理した。

表の作成にあたっては、それぞれの教材について、単元名及び教材名、学習目標、学習の振り返り、領域の5点を教科書から転載し、教科書の掲載順に一覧した。

中学校国語科教科書に設定されている学習の振り返りについて調査した研究は管見の限り見当たらない。本資料を通して、学習を振り返るという活動が中学校国語科教科書の具体的な記述としてどのように設定されているかが一覧できる。そのため、国語科の学習活動でどのように振り返りの機会を設定するかを考える際の資料として活用されることが期待できる。

東京書籍(1年)				
単元名	教材名	目標	振り返り	領域
言葉を楽しむ	話し方はどうかな	・話し方について知り、声に出して文章を読む。		領域 話すこと・ 聞くこと
	詩の心—発見の喜び 小さな発見を詩にしよう	・言葉の意味を的確に捉え、詩を音読して読み味わう。 ・詩を鑑賞し、自分のものの見方を広げる。 ・言葉を選び、表現を工夫して、詩を仕上げ上げる。		読むこと 書くこと
思いを捉える	飛べ かもめ	・場面の様子や登場人物の思いに注意して、作品を読み味わう。 ・作品から読み取ったことをもとに想像を膨らませ、自分のものの見方を広げる。		読むこと
	さんきち	・場面の様子や登場人物の思いに注意して、作品を読み味わう。 ・作品から読み取ったことをもとに想像を膨らませ、自分のものの見方を広げる。		読むこと
	会話が弾む質問をしよう	・話の内容が深まったり広がりたりするような、よりよい質問をする。		話すこと・ 聞くこと
分かりやすく伝える	オオカミを見る目	・段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ・筆者の文章の書き方について、自分の考えを持つ。		読むこと
	構成を考えて書こう「私」の説明文	・普段の生活や自分について振り返り、書くための材料を集め、伝える内容を考える。 ・材料を分類するなどして整理し、段落の役割を考えて、伝えたい内容にふさわしい文章構成で書く。	・ふだんの生活や自分について振り返り、書くための材料を集め、伝える内容を考えてか。 □連想を広げながら、書くための材料を多く挙げたか。 □集めた材料をもとに、自分について知ってもらうためにふさわしい内容を考えてか。 ・材料を分類するなどして整理し、段落の役割を考えて、伝えたい内容にふさわしい文章構成で書いたか。 □材料を絞り込むために、分類して見出しを付けるなどして整理したか。 □どんな構成の文章にしたら分かりやすくなるかを考え、内容のまとまりごとに段落を分けて書いたか。	書くこと
考えをまとめる	スズミは本当に減っているか	・事案と筆者の考えとを読み分けながら、文章の展開を捉える。 ・文章の内容や、筆者のものの見方、考え方について、感想や考えを持つ。		読むこと
	根拠を明確にして書こう意見文	・説得力のある根拠を考え、根拠を明確に示して自分の意見を書く。 ・書いた文章を互いに読み合い、根拠の明確さや説得力などを確かめ合う。	・説得力のある根拠を考え、根拠を明確に示して自分の意見を書いたか。 □説得力を持つような具体的な根拠を考えたか。 □根拠を明確に示して、意見文を書いたか。 ・書いた文章を互いに読み合い、根拠の明確さや説得力などを確かめ合ったか。 □根拠が明確に示されているかを確かめ合ったか。 □根拠に説得力があるかどうかを確かめ合ったか。	書くこと
	具体例を挙げて伝えよう「ことわざ」スピーチ	・具体例を取り入れ、順序立てて話を組み立てる。 ・声の大きさや話す速さ、間の取り方などに気をつけて、聞きとりやすく効果的な話し方をする。	・具体例を取り入れ、順序立てて話を組み立てたか。 □何について話すのかを明確にしたうえで、例示と結論を分けるなど、順序立てて話を組み立てたか。 □必要に応じてラベリングやナンバリングを使ったか。 ・声の大きさや話す速さ、間の取り方などに気をつけて、聞きとりやすく効果的な話し方をしたか。 □発音や声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意して、聞き取りやすく話したか。 □聞き手の反応を見て、必要に応じて、別の言葉で言い換えたり、だいたいなことを繰り返し述べたりしたか。	話すこと・ 聞くこと
伝統文化に触れる	古典の世界	・古典にはさまざまな種類の作品があることを知り、興味や関心を持つ。		読むこと
	伊曾保物語	・歴史的仮名遣いに注意して音読し、古文の読み方に慣れる。 ・文章の構成などの特徴について考える。		読むこと
	竹取物語	・現代語とは異なる言葉や表現に注意して音読し、古典の世界に触れる。 ・古典の作品に描かれた人間の心のありようについて考える。		読むこと
	矛盾 案内や報告の文書を書こう	・訓読に必要な決まりを知り、漢文特有のリズムを味わう。 ・故事成語について調べ、体験や出来事を文章にまとめる。 ・必要な情報を選び出し、分かりやすい構成でまとめる。		読むこと 書くこと
作品を読み解く	少年の日の思い出	・場面の展開を捉え、人物や情景を描いた表現に着目して、作品を読み深める。 ・作品の構成の工夫について、自分の考えをもつ。		読むこと
	ニュースの見方を考えよう 学校新聞の記事を書こう	・情報への接し方と情報の用い方を身につける。 ・図表を用いて情報を効果的に伝える。		読むこと 書くこと
表現を考える	話し合いで理解を深めようグループディスカッション	・お互いの体験や考えを出し合って整理する。 ・相手の発言をしっかりと聞き、話の方向を捉えて自分の考えを話す。	・お互いの体験や考えを出し合って整理したか。 □発言しやすい雰囲気を作り、体験や考えを積極的に出し合ったか。 □出し合った体験や考えの共通点を見つけて整理したか。 ・相手の発言をしっかりと聞き、話の方向を捉えて自分の考えを話したか。 □相手の発言をしっかりと聞き、分らないところは質問したり確認したりしたか。 □話し合いの目的を理解し、それぞれの発言内容を受けて自分の考えを話したか。	話すこと・ 聞くこと
	作品のよさを表現しよう歌の鑑賞文	・作品のよさを伝えるという目的に沿って、鑑賞文を書くための材料を集め、自分の考えをまとめる。 ・作品中の表現を根拠にして、感じたことや考えたことがよく伝わるように鑑賞文を書く。	・作品のよさを伝えるという目的に沿って、鑑賞文を書くための材料を集め、自分の考えをまとめたか。 □作品の中で印象に残った部分を見つけ、読み取ったことや感じたことを書き出したか。 □作品の全体から感じたこと、部分から感じたこととのつながりを考えるなどして、鑑賞文を深めたか。 ・作品中の表現を根拠にして、感じたことや考えたことがよく伝わるように鑑賞文を書いたか。 □感じたことや考えたことを書くときに、作品のどの部分からそれがいえるのか、根拠を示すようにしたか。 □読み手に与えるイメージを意識して、言葉を選んで文章を書いたか。	書くこと
光村図書(1年)				
単元名	教材名	目標	振り返り	領域
学びをひらく	花曇りの向こう	・場面や登場人物の描写に着目して、内容を読みとる。 ・人物の気持ちの変化をとらえ、題名にこめられた意味を考える。	・物語の冒頭と結末で、「僕」はどのように変わったか。それはどんな描写に表れているか。 ・題名の意味について、どのようなことを考えたか。	読むこと
	分かりやすく説明しよう	・説明する目的や相手を明確にし、観点を立てて情報を集める。 ・集めた情報を整理し、わかりやすい構成を考えて書く。	・情報を集めるために、どのような工夫をしたか。 □目的や相手を明確にしたか。 □観点を立てて情報を集めたか。 ・どのように情報を整理、構成して文章を書いたか。 □表に分類するなどして必要な観点や情報を選んだか。 □わかりやすい説明の順序を考えて書いたか。	書くこと

新しい視点へ	ダイコンは大きな根？	・段落の役割に着目しながら、文章の内容をとらえる。 ・筆者の説明のしかたの工夫について考える。	・文章全体の中で、それぞれの段落はどのような役割をもっていたか。 ・わかりやすい説明の工夫にはどんなものがあるか。	読むこと
	ちよっと立ち止まって	・段落どうしの関係に着目して、文章の構成をとらえる。 ・著者の考えをもとに、自分のもの見方や考え方を広げる。	・文章の構成はどのようになっているか。 ・筆者の考えのどんな点に興味をもったか。	読むこと
	「好きなもの」を紹介しよう	・話の構成や順序を工夫し、自分の伝えたいことを整理する。 ・声の大きさを話す速さなど、話し方を意識して聞き手にわかりやすい発表をする。	・わかりやすいスピーチをするために、どんなところに気を付けたか。 □内容や構成、順序を工夫したか。 □話し方に注意して発表したか。	書くこと
	情報の集め方を知ろう	・さまざまな情報の集め方を知り、目的に応じた方法を考える。		読むこと
言葉をつなぐ	詩の世界	・それぞれの詩の表現の特徴をとらえ、描かれた情景を想像する。		読むこと
	空を見上げて	・言葉にはどのような力があるのかを読み取り、言葉について考えを深める。		読むこと
読書生活を豊かに	私が選んだこの一冊 読書紹介をしよう	・伝えたい内容に合わせて、文章を引用して紹介する。 ・紹介する本の魅力について、自分の考えをまとめる。	□伝えたい内容に合わせて、本から文章を引用して紹介したか。 □本の魅力について、自分の考えをまとめたか。	読むこと
	星の花が降るころに	・場面の展開や登場人物などの描写に着目して、作品を読み深める。 ・登場人物のもの見方や感じ方について自分の考えをもつ。	・登場人物や情景の描写から、人物のどのような気持ちの変化を読みとったか。 ・人物のもの見方などについて、どのように考えたか。	読むこと
つながりの中で	大人になれなかった弟たちに…	・登場人物の行動や情景描写などに着目して、心情をとらえる。 ・厳しい時代や状況を生きた人物の姿から、自分のもの見方や感じ方を見つめ直す。	・人物の心情をどんなところに着目して読み取ったか。 ・人物の姿から、自分のもの見方や感じ方はどう変わったか。	読むこと
	シカの「落ち種拾い」 ―フィールドノートの記録から―	・示されている事実と、筆者の考えとの関係を読み取る。 ・筆者の考えの述べ方や、図表の役割について自分の考えをもつ。	・筆者はどのような手順で「考察」を導き出していたか。 ・文章の表現のしかたや図表の役割などについて、どんな考えをもったか。	読むこと
	調べたことを報告しよう	・課題にあわせて、集めた材料を整理する。 ・調べた内容がわかりやすく伝わるように、構成に沿って文章にまとめる。	・集めた材料を整理したか。 □課題に合わせて必要な材料を取捨選択したか。 ・調べた内容をわかりやすく伝える工夫をしたか。 □レポートの構成に沿って内容ごとに書いたか。 □事実と考えを書き分けたか。 □小見出しや箇条書き、図表やグラフを活用したか。	書くこと
いにしへの心に触れる	蓬萊の玉の枝 ―竹取物語語りから―	・古典の文章(文言文・古文)を読み、興味や関心をもってその世界に触れる。 ・仮名遣いに注意したり、リズムを味わったりしながら音読し、古典の文章に読み慣れる。	・古典の文章を読み、どんなところに興味や関心をもったか。 ・現代の文章と古典とを比べ、どんな違いに気がついたか。	読むこと
	今に生きる言葉	・中国の古典に由来する言葉が、今も生活の中に生き続けていることを知る。 ・「矛盾」の故事を繰り返し音読し、漢文独特の言い回しに読み慣れる。	・挙げられている故事成語は、日常生活の中でどのように使われているか。 ・漢文独特の言い回しには、どんなものがあったか。	読むこと
論点を捉えて	幻の魚は生きていた	・中心となる文に着目しながら、文章の要旨を捉える。 ・筆者の考えを基に、人間の生活と生き物や環境との関係について考えを深める。	・どのような手順で要旨を捉えたか。 ・筆者は文章全体を通して、どのような主張をしていたか。	読むこと
	話題や方向を捉えて話し合う グループ・ディスカッションを おそう	・話し合いの話題や方向を的確に捉えて、根拠を明確にして話し合う。 ・質問を合して互いの考えを聞き、共通点や相違点を整理して考えをまとめる。	・話題や方向を捉えて話し合ったか。 □話し合いの流れを踏まえて、根拠を明確にした発言をしたり質問をしたりしたか。 ・話し合いを通して考えを整理できたか。 □友達の見解や質問について、自分の考えと比べながら聞けたか。	話すこと・ 聞くこと
	根拠を明確にして魅力を 伝えよう 鑑賞文を書く	・作品を鑑賞し、その魅力が伝わるように根拠を明確にして文章にまとめる。 ・書いた文章を互いに読み合い、作品の捉え方や表現のしかたについて考えを深める。	・根拠を明確にして伝えるために、どのような工夫をしたか。 □感じたことや想像したことだけではなく、なぜそう感じるの具体的な特徴を示したか。 □読み手を意識して、語句や表現を考えたか。 ・鑑賞文を読み合うときに、どのような点に注意したか。 □作品の捉え方や表現のしかたに着目したか。	書くこと
自分を見つめて	少年の日の思い出	・場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化を捉え、作品を読み深める。 ・登場人物の考え方や感じ方、表現の特徴などについて、自分の考えをもつ。	・場面の展開に沿って、登場人物のどんな心情の変化を捉えたか。 ・人物の考え方や表情の特徴などについて、どう考えたか。	読むこと
	印象深く思いを伝えよう	・伝えたい自分の考えや気持ちを、相手や目的を考えながら書く。 ・文章を読み返し、わかりやすく、印象深いものになっているかを推敲する。	・相手や気持ちを伝えるために、どんな工夫をしたか。 □相手に印象深く読んでもらえるような内容を選び、構成を考えたか。 □表現技法などを用いて、表現を工夫したか。 ・どのような点に注意して推敲したか。 □漢字や語句の使い方は正確か、わかりやすい文章になっているかを確認したか。 □内容が印象深く伝わる表現かを確認したか。	書くこと
	一年間の学びを振り返ろう ポスターセッションをする	・学んだことの中から題材を選び、材料を集めながら考えをまとめる。 ・発表内容の構成を工夫し、聞き手の反応に注意しながら話す。	・発表の内容について、どんなことに注意したか。 □一年間の学習を振り返り、題材を選べたか。 □文章の魅力を伝えるために効果的な材料を集めたか。 ・発表するとき、どんなことに注意したか。 □聞き手の反応を確認しながら話したか。	話すこと・ 聞くこと 書くこと
	ばくが ここに	・詩の中の言葉や表現を、作者の思いを想像しながら読み味わう。		読むこと

教育出版(1年)				
単元名	教材名	目標	振り返り	
言葉で意味づける	音を追いかけて	・登場人物の心情や行動の変化に着目し、作品の理解を深める。	・登場人物の心情や行動の変化に着目し、作品の理解を深める。□	読むこと
	体験したことを文章にする	・自分の体験を振り返り、随筆を書く。 ・題名を決め、時間の順番にそって、文章を書く。	・自分の体験を振り返り、随筆を書く。□ ・題名を決め、時間の順番にそって、文章を書く。□	書くこと
関係を見いだす	笑顔という魔法	・語句の意味や接続表現、文末表現をおさえ、筆者のもの見方や考え方を捉える。 ・「題名」と本文の内容、「問い」と「答え」の関係に着目して文章を読む。	・語句の意味や接続表現、文末表現をおさえ、筆者のもの見方や考え方を捉える。□ ・「題名」と本文の内容、「問い」と「答え」の関係に着目して文章を読む。□	読むこと
	フリップを用いて報告する	・話の構成を考え、フリップを用いて報告する。 ・文末表現に注意して、事実と意見を区別して話す。	・話の構成を考え、フリップを用いて報告する。□ ・文末表現に注意して、事実と意見を区別して話す。□	話すこと・ 聞くこと
世界をひらく	漢字の広場1 漢字の部首	・漢字の部首についての理解を深める。	・漢字の部首についての理解を深める。□	言語
	ベンチ	・本や文章から必要な情報を集めるための方法を身につける。	・本や文章から必要な情報を集めるための方法を身につける。□	読むこと
表現に立ち止まる	写真と言葉が生み出す世界 ―メディア・リテラシー入門―	・写真と文章の関係を考え、読み手に対する効果を考える。		読むこと
	芸術作品の鑑賞文を書く	・芸術作品から受けた印象を、鑑賞文にまとめる。 ・根拠を明確にして、文章を書く。	・芸術作品から受けた印象を、鑑賞文にまとめる。□ ・根拠を明確にして、文章を書く。□	書くこと
	河童と蛙	・場面と人物の対応を捉えて読む。		読むこと
表現に立ち止まる	オツベルと象	・作品の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ。 ・語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。	・作品の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ。□ ・語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。□	読むこと
	行事などの案内文を書く	・行事の案内文に必要な内容や構成を理解する。 ・推敲のポイントに従って文章を推敲する。	・行事の案内文に必要な内容や構成を理解する。□ ・推敲のポイントに従って文章を推敲する。□	書くこと

	漢字の広場2 画数と活字の字体	・画数と活字の字体についての理解を深める。 ・登場人物の行動や場面を捉え、作品の理解を深める。 ・古典にはさまざまな作品があることや、古典の仮名遣いのきまりを知る。	・画数と活字の字体についての理解を深める。 □ ・登場人物の行動や場面を捉え、作品の理解を深める。 □ ・古典にはさまざまな作品があることや、古典の仮名遣いのきまりを知る。 □	言語 読むこと
古典と出会う	物語の始まり―竹取物語―	・物語について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。 ・古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。	・物語について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。 □ ・古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。	読むこと
	故事成語―中国の名言―	・いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ・漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。	・いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 □ ・漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。 □	読むこと
	蜘蛛の糸	・わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。		読むこと
	文章の構成や特徴を捉えて読む	・筆者の考えとその根拠に注意して、文章の構成や展開を捉える。 ・筆者の説明の仕方に注意して読み、文章の表現の仕方工夫を捉える。	・筆者の考えとその根拠に注意して、文章の構成や展開を捉える。 □ ・筆者の説明の仕方に注意して読み、文章の表現の仕方工夫を捉える。 □	読むこと
説明を比べる	友達のスピーチを聞く	・友達のスピーチを聞いて、必要に応じて質問する。 ・自分の考えとの共通点や相違点を整理する。	・友達のスピーチを聞いて、必要に応じて質問する。 □ ・自分の考えとの共通点や相違点を整理する。 □	話すこと・聞くこと
	意見文を読み合う	・具体例や体験を根拠にして、意見文を書く。 ・互いに読み合い、文章のよさを発見し合う。	・具体例や体験を根拠にして、意見文を書く。 □ ・互いに読み合い、文章のよさを発見し合う。 □	書くこと
発想を広げる	漢字の広場3 漢字の音と訓	・漢字の音と訓についての理解を深める。	・漢字の音と訓についての理解を深める。 □	言語
	言葉がたぐ世界遺産	・筆者のものの見方や考え方を捉えるとともに、言葉のはたらきについての自分の考えをまとめる。 ・構成や展開に注意して読み、筆者のものの見方や考え方に迫るために、要約したり要旨を捉えたりする。	・筆者のものの見方や考え方を捉えるとともに、言葉のはたらきについての自分の考えをまとめる。 □ ・構成や展開に注意して読み、筆者のものの見方や考え方に迫るために、要約したり要旨を捉えたりする。 □	読むこと
考えを共有する	図表を用いて報告する	・図表から情報を読み取り、レポートを書く。 ・相手や目的に応じたわかりやすい文章を書く。	・図表から情報を読み取り、レポートを書く。 □ ・相手や目的に応じたわかりやすい文章を書く。 □	読むこと
	四季の詩	・それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。		読むこと
	漢字の広場4 熟語の構成	・熟語の構成の基本的な型を知る。	・熟語の構成の基本的な型を知る。 □	言語
アイディアを出して話し合う	語り手に着目して作品を読み、自分のものの見方や考え方を広げる。	・語り手に着目して作品を読み、自分のものの見方や考え方を広げる。 ・場面の展開や人物の描写に注意して、登場人物の心の変化を捉える。	・語り手に着目して作品を読み、自分のものの見方や考え方を広げる。 □ ・場面の展開や人物の描写に注意して、登場人物の心の変化を捉える。 □	読むこと
	グループでアイデアを出して話し合う	・グループでアイデアを出して、話し合う。 ・話題や方向にそって話し合いをする。	・グループでアイデアを出して、話し合う。 □ ・話題や方向にそって話し合いをする。 □	話すこと・聞くこと
言葉と文法解説編	言葉1 日本語の音声	・日本語のもつ音の特徴を理解する。	・日本語のもつ音の特徴を理解する。 □	言語
	言葉2 日本語の文字	・日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	・日本語を書き表す文字の特徴を理解する。 □	言語
	文法1 言葉の単位	・文章・段落・文・文節・単語という単位について理解する。	・文章・段落・文・文節・単語という単位について理解する。 □	言語
	文法2 文の成分	・主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	・主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。 □	言語
	文法3 単語のいろいろ	・自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。	・自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。 □	言語

学校図書(1年)		目標	振り返り	領域
単元名	教材名	目標	振り返り 言葉の力 会話の表現などを手掛かりにして登場人物の心理を 考えることができた。 考える力 成長や自立について考えることができた。 知識や技能 小説の登場人物の捉え方について知ることができた。	領域
絆・家族 の中で	風呂場の散髪―続岳物語	・成長するとは何かについて考える。 ・会話表現の特徴と効果捉える。		読むこと
	字のない葉書	・家族の絆を考える。 ・心理の変化を表す表現を捉える。	言葉の力 心理の変化を表す表現を捉えることができた。 考える力 家族の絆について考えることができた。 知識や技能 小説と随想の違いを知ることができた。	読むこと
	兄やん	・仲間の絆を考える。 ・展開を捉える。	言葉の力 小説の展開を考えながら、書かれていることの意味を 捉えることができた。 考える力 登場人物同士のつながりを捉え、仲間の絆について 考えることができた。 知識や技能 作品を読み比べ、共通点と相違点を知ることができた。	読むこと
	話す・聞く お気に入りの紹介しよう	・スピーチの仕方を身につける。	コメントをもとにスピーチを振り返ろう(コメント・マップを作る) 仲間のコメントを内容ごとに整理し、見出しをつけ、コメント マップにまとめてみよう。自分のスピーチがどのように受け 止められたのか、また、スピーチをしてきた感想など自分 なりの振り返りも書いておこう。	話すこと・ 聞くこと
生命・命 の鎖	ものづくり生きる	・社会の中の生を考える。 ・展開に即して要旨を捉える。	言葉の力 表現に即して、具体的な意味を説明することができた。 考える力 社会の中で働くということについて、自分なりの考えを 持つことができた。 知識や技能 文章の展開に沿って、要旨を捉えることができた。	読むこと
	変わる動物園	・自然と関わる生を考える。 ・構成に即して主張を捉える。	言葉の力 キーワードの表現していることを、整理することができた。 考える力 人間と動物・自然の関わり方について、考えをまとめる ことができた。 知識や技能 文章の構成に沿って、筆者の主張を捉えることができた。	読むこと
	奈々に	・親から子へのメッセージを捉える。 ・詩的表現の工夫や効果を考える。	言葉の力 詩的な表現の意味を捉えることができた。 考える力 詩に込められたメッセージを捉えることができた。 知識や技能 詩的な表現の工夫や効果を捉えることができた。	読むこと
	何にでも値段をつける古道具 屋のおじさんの詩	・価値について考える。 ・表現に応答しながら読む。	言葉の力 詩的な表現の問いかけに答えながら読むことができた。 考える力 最後の質問にどう答えるか考え、ものの価値について 話し合うことができた。 知識や技能 詩的な表現の特色について考えることができた。	読むこと
	知識の樹木―「音遊び」抄	・認識を獲得する喜びについて考える。 ・体験を吟味する方法を捉える。	言葉の力 題名が何を意味しているか、説明することができた。 考える力 認識の方法について考えたことをまとめることができた。 知識や技能 体験から分かったことを表現することができた。	読むこと

	書く1 私のブックデザイン	・本の魅力を伝える。			書くこと
	木霊	・小説の主題について考える。		言葉の力 主題を捉えて、自分なりのタイトルを考えることができた。 考える力 気になった表現、気に入った表現について考え、小説のおもしろさを味わうことができた。 知識や技能 近代小説の世界を知ることができた。	読むこと
群像-出会いと発見	空飛ぶ魔法のほうき	・想像力の役割を考える。 ・筆者の考えとエピソードとの関係を読む。		言葉の力 文章の構造を考えて、作品を朗読することができた。 考える力 想像力の役割について考えることができた。 知識や技能 筆者がそのエピソードを取り上げた理由を理解することができた。	読むこと
	ぬすびと面	・創造力の役割を考える。 ・モチーフを吟味して主題を捉える。		言葉の力 「山端とろろ」とこの物語の関係を説明することができた。 考える力 創造力の役割について考えることができた。 知識や技能 モチーフから、物語の主題を捉えることができた。	読むこと
	二十年後	・人生・運命の不思議さを考える。 ・短編小説の技法と特色を捉える。		言葉の力 ショートショート構造や表現について知ることができた。 考える力 人生や運命の不思議さについて考えることができた。 知識や技能 ショートショート作品のおもしろさを紹介することができた。	読むこと
	話す・聞く2 インタビューをしよう	・友達の考えていることをより深く知る。		・インタビューを振り返る 友達からのコメントを内容ごとに整理し、次のことについて話し合おう。 ①インタビューを受けた経験から ・どの質問が答えやすかったか。(理由も考える) ・どの質問が答えにくかったか。(理由も考える) ②インタビューをした経験から ・相手の答えからうまく次の質問をすることができたのはどの時か。 ・思うように話が展開しなかったところはどこか。 ・どのような答えの時、話が展開しやすかったか。 ③記録の立場から ・話が弾んでいると感じたのはどの場面か。 ・自分がインタビューをする側だったらこう聞いたという場面はなかったか。 ④全体を振り返って ・よい質問とはどのようなものか。 ・インタビューする上で大切なことは何か。	話すこと・ 聞くこと
	片言を言うまで	・言葉と心の関係を考える。 ・言葉と心の関係から文章の主題を捉える。		言葉の力 言葉について調べて書くことができた。 考える力 言葉と心の関わりについて、考えることができた。 知識や技能 調べて書く方法が分かった。	読むこと
伝統-時を越えて	姫の物語? 翁の物語? 一竹取物語	・語り手が伝えようとしたことを捉える。 ・内容を理解して音読し、古文特有のリズムを味わう。		言葉の力 古文特有のリズムを味わうことができた。 考える力 語り手が伝えようとしたことを捉えることができた。 知識や技能 内容理解を踏まえて音読することができた。	読むこと
	とらわれた心に突き立つ矢 一宇治遺物語	・語り手のものの見方を捉える。 ・登場人物や語り手のものの見方を踏まえて、音読する。		言葉の力 登場人物や語り手の違いを捉えて音読を工夫することができた。 考える力 語り手のものの見方を捉えることができた。 知識や技能 内容理解を生かして音読することができた。	読むこと
	故事成語	・書き下し文で原話の内容を捉える。 ・訓読文を音読し、その内容と特有のリズムを味わう。		言葉の力 漢文特有のリズムを味わうことができた。 考える力 書き下し文から原話の内容を捉えることができた。 知識や技能 故事成語の用法や背景について知ることができた。	読むこと
	書く2 隠れた世界を知る	・身近な出来事を報道文で伝える。		学習を振り返る できあがった新聞記事を読んで、次のような観点を中心に、感じたこと、考えたことを話し合おう。 ・記事の内容 ・文章のまとめ方 ・構成 など	書くこと
世界-関係の中で	まなちゃんの道	・自己との向き合い方を考える。 ・回想表現の特長や意義を捉える。		言葉の力 筆者が自分の子供時代をどう捉えているか説明することができた。 考える力 回想を書くことの意味について考えることができた。 知識や技能 自分のあり方を表現する言葉を捉えることができた。	読むこと
	少年の日の思い出	・他者と関わる自己を考える。 ・語りの構造から人物関係を捉える。		言葉の力 エメールへの「僕」の思いを表現に即して説明することができた。 考える力 「僕」の行動を促したものは何か考えることができた。 知識や技能 語り手のあり方、語りの構造について理解ができた。	読むこと
	シェークVSバナナスプリット	・表現を通じた他者との関わりを考える。 ・独自の視点で読む方法を捉える。		言葉の力 友達の読み方と自分の読み方の相違点や共通点を説明することができた。 考える力 表現を通じた他者との関わりについて考えることができた。 知識や技能 読む時の着眼点や理解の仕方が分かった。	読むこと
	見ることと読むこと 言葉のイメージ・絵のイメージ			・学習を振り返ろう 文章を読んで得たことを図や絵で表現することのよさと問題点について、「見ることと読むこと」というタイトルで短い文章にまとめ、お互いに読み合おう。	読むこと

	自由詩「イマジン」(抄) ストロベリーフィールズの風に 吹かれながら	・平和への思いを伝える言葉を探り、自分の思いを語る。	言葉の力 平和への思いを伝える言葉を探ることができた。 考える力 平和への思いを伝える言葉はどのようなものか考えることができた。 知識や技能 詩と随筆の特徴を知ることができた。	読むこと
	言葉のいのち	・批評の方法を学び、詩の創造について考える。	言葉の力 詩の紹介文を書くことができた。 考える力 詩の表現とその創造について考えることができた。 知識や技能 批評の方法を知ることができた。	読むこと

三省堂(1年)				
単元名	教材名	目標	振り返り	領域
新しい世界へ	朝のルー	・表現に着目しながら読み、詩に表れているもの見方や考え方を捉える。	□表現に着目しながら読み、詩に表れているもの見方や考え方を捉える。	読むこと
	オオカミの友だち	・場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、登場人物の気持ちの変化を捉える。	□場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、登場人物の気持ちの変化を捉える。	読むこと
わかりやすく伝える	聞き上手、話し上手になるために スピーチ	・話す速度や音量、ことばの調子や間の取り方、身振りや手振りなどの効果を意識しながら話す。 ・相づちやうなずきなどにより、話し手が話しやすい環境を作りながら聞く。	学習を振り返る 目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	話すこと・聞くこと
	クジラの飲み水	・段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。 ・読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。	□段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。 □読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。	読むこと
かかわりをとらえる	調べたことを整理して、わかりやすく レポート	・調べて集めた情報を分析・整理して、まとまりや順序を考えた文章を構成する。 ・わかりやすく説明になるように、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いる。	学習を振り返る 目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	書くこと
	空中ブランコ乗りのキキ	・場面の展開や登場人物の描かれ方に注意して読む。 ・登場人物の判断や行動について、自分の考えをもつ。	□場面の展開や登場人物の描かれ方に注意して読む。 □登場人物の判断や行動について、自分の考えをもつ。	読むこと
情報を読み解く	チームの力を引き出す 質問	・質問を効果的に使い、自分の考えと同じ点や違う点を確かめたり、整理したりする。 ・テーマを探求したり問題を解決したりするための質問や話し合いのあり方について考える。	学習を振り返る 目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	話すこと・聞くこと
	食感のオノマトペ	・図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。 ・オノマトペの意味や効果について、自分の考えをもつ。	□図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。 □オノマトペの意味や効果について、自分の考えをもつ。	読むこと
古典に学ぶ	目的や相手に応じて、情報を編集する 行事業内 リーフレット	・目的と相手明確にして集めた情報を分類・整理して、わかりやすく構成する。 ・文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、相手にとって必要な情報が正しくわかりやすく伝わるものにする。	学習を振り返る 目標をもう一度確認しながら学習を振り返りましょう。	書くこと
	竹取物語	・古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界に触れる。 ・現代とのつながりを考えて読み、物語のおもしろさについて、自分の意見をもつ。	□古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界に触れる。 □現代とのつながりを考えて読み、物語のおもしろさについて、自分の意見をもつ。	読むこと
論理的に考える	故事成語—矛盾	・訓読の仕方にふれ、漢文調のリズムに注意して音読する。 ・現代にも受け継がれている故事成語の由来について理解を深める。	□訓読の仕方にふれ、漢文調のリズムに注意して音読する。 □現代にも受け継がれている故事成語の由来について理解を深める。	読むこと
	玄関扉	・文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉える。 ・玄関扉の例を中心に、文化の違いについて、自分の考えをもつ。	□文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉える。 □玄関扉の例を中心に、文化の違いについて、自分の考えをもつ。	読むこと
読みを深め合う	論理で迫るか、感情に訴えるか 討論ゲーム	・説得力をもつように、話の構成や討論の展開を工夫して話す。 ・わかりやすく印象に残る語句を選んだり、声の調子や身振りなどに変化をつけたりして、相手に与える効果を考えて話す。 ・立場や目的にそって効果的に話したり、発言の特徴に注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる。	学習を振り返る 目標をもう一度確認しながら学習を振り返りましょう、「理想的な討論のあり方」について、ノートにまとめたリ、教室に掲示したりしておきましょう。	話すこと・聞くこと
	変わり身の上話	・成り変わったものの特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などについて交流する。	成り変わったものの特徴や雰囲気、うまく捉えた表現ができましたか。	書くこと
視野を広げる	見えなだけ	・詩の中のことばの意味を的確に捉えて、内容を理解する。 ・表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の意見をもつ。	□詩の中のことばの意味を的確に捉えて、内容を理解する。 □表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の意見をもつ。	読むこと
	少年の日の思い出	・場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉える。 ・作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えをもつ。	□場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉える。 □作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えをもつ。	読むこと
つながりを考える	多角的な視点で作品を読み解く 鑑賞文	・想像を広げたり、いろいろな視点で分析したりして、自分の受け止め方や考えを明確にして書く。 ・書いた文章を読み合い、作品の捉え方や根拠の明確さ、表現の仕方などについて意見を交流する。	学習を振り返る 目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	書くこと
	この小さな地球の上で	・文章に出てくる語句の意味について、文脈にそって的確に捉える。 ・地球や人間に対する筆者の考え方を読み取り、自分のもの見方や考え方を広げる。	□文章に出てくる語句の意味について、文脈にそって的確に捉える。 □地球や人間に対する筆者の考え方を読み取り、自分のもの見方や考え方を広げる。	読むこと
一年間の自分とクラスを振り返って	思いや感覚に向き合い、考えを確かかなものに 意見文	・日常生活の中から課題を決め、問いと対話によって、自分の考えをまとめる。 ・事実や体験から導き出した自分の考えを、根拠を明確にして書く。	学習を振り返る 目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	書くこと
	即興劇にチャレンジ	・声の調子や語句の選択、言葉づかいなど、役に応じた表現を工夫する。	役に応じた表現を工夫しながら楽しむことができましたか。	話すこと・聞くこと
一年間の自分とクラスを振り返って	トロッコ	・情景や行動の描写に表現されている、主人公の心情の変化を読み取る。 ・文脈の中のことばの意味を的確に捉え、表現の工夫や特徴について考えをもつ。	□情景や行動の描写に表現されている、主人公の心情の変化を読み取る。 □文脈の中のことばの意味を的確に捉え、表現の工夫や特徴について考えをもつ。	読むこと
	一年間の自分とクラスを振り返って	・取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりする。 ・文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、正しく読みやすいものにする。	学習を振り返る 目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	書くこと 話すこと・聞くこと

東京書籍(2年)				
単元名	教材名	目標	振り返り	領域
言葉を感じる	メッセージをどう聞くか	・キーワードの意味に注意して、筆者の考えを捉える。		読むこと
	短歌を楽しむ 短歌のリズムで表現しよう	・情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。 ・短歌の表現の工夫などを捉えて、鑑賞したことをまとめる。 ・自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作る。		読むこと 書くこと
感想を深める	字のない葉書	・登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して、作品を読み味わう。 ・登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。		読むこと
	卒業ホームラン	・登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して、作品を読み味わう。 ・登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。		読むこと
	問題意識を持って聞こう	・表現の仕方や根拠の確かさに注意して聞き、自分の考えを広げる。		話すこと・聞くこと
伝え方を工夫する	壁節	・文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して、内容を読み取る。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ。		読むこと
	調べて考えたことを伝えよう	・ふだんの生活やメディアなどで見聞きすることからテーマを決め、調査して自分の考えをまとめる。 ・調べて分かった事実や自分の考えが明確に伝わるように、構成を工夫してレポートを書く。	・ふだんの生活やメディアなどで見聞きすることからテーマを決め、調査して自分の考えをまとめたか。 □興味のあることをもとに、自分なりのテーマを設定したか。 □テーマに沿って、さまざまな情報を集めて考えをまとめたか。 ・調べて分かった事実や自分の考えが明確に伝わるように、構成を工夫してレポートを書いたか。 □事実と自分の考えとを区別してレポートを構成したか。 □調査結果をまとめるときに分け、順序を考えて示したか。	書くこと
説得力を高める	哲学的思考のすすめ	・論の進め方を捉え、文章の内容を読み取る。 ・筆者の考えなどについて、知識や体験と関連づけて自分の考えを持つ。		読むこと
	反対意見を想定して書く意見文	・自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書く。 ・意見が効果的に伝わるように、根拠を具体的に記述したり、他の立場への反論を盛り込んだりする。	・自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書いたか。 □自分の立場(主張)を意見文の中で明確に示したか。 □「主張」「根拠」「反対の主張の根拠への反論」「まとめ」の順で書くなど、分かりやすい構成で書いたか。 ・意見が効果的に伝わるように、根拠を具体的に記述したり、他の立場への反論を盛り込んだりしたか。 □自分の主張に説得力を持たせるために、根拠を具体的に記述したか。 □他の立場への的確な反論を盛り込み、論の説得力を高めたか。	書くこと
	説得力のある提案をしよう プレゼンテーション	・聞き手の立場や考えを想定して、説得力のある話を組み立てる。 ・資料や機器を活用して、分かりやすく印象的に話す。	・聞き手の立場や考えを想定して、説得力のある話を組み立てたか。 □提案理由を練りあげ、説得力のあるものにしたか。 □質問や意見を予想し、答えとなる内容の示し方を工夫したか。 ・資料や機器を活用して、分かりやすく印象的に話したか。 □写真や絵、グラフや図表を取り入れて資料を作成したか。 □機器を活用したり資料の提示方法を工夫したりしたか。	話すこと・聞くこと
伝統文化を楽しむ	枕草子・徒然草	・筆者のものの見方や考え、表現の仕方を捉える。 ・見聞きしたことや体験したことをもとに、表現を工夫して随筆を書く。		読むこと
	平家物語	・表現の特徴に注意して朗読し、古典の世界を楽しむ。 ・描かれた状況や心情を読み取り、武士の価値観や生き方について考える。		読むこと
	漢詩	・表現の特徴に注意して朗読し、漢詩を味わう。 ・情景を描いた表現の効果について考える。		読むこと
	依頼状やお礼状を書く	・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方などに注意して推敲する。		書くこと
描写を味わう	走れメロス	・人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み深める。 ・場面の展開や表現の仕方について、自分の考えをまとめる。		読むこと
	「正しい」言葉は信じられるか タウン誌の記事を推敲しよう	・事象の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考える。 ・構成や表現の効果について考えて、文章を推敲する。		読むこと 書くこと
効果的に表現する	話し合いで問題を検討しよう —リンクマップによる話し合い	・さまざまなメディアを使って討論のテーマを決め、メリットとデメリットを出し合う。 ・テーマについて話し合って検討し、意見をまとめる。	・さまざまなメディアを使って討論のテーマを決め、メリットとデメリットを出し合ったか。 □さまざまなメディアを使って話題を見つけ、討論に適したテーマを設定したか。 □必要に応じてメディアの情報も参考にしながら、実施した場合に起こりうるメリットやデメリットを出したか。 ・テーマについて話し合っけて検討し、意見をまとめたか。 □データの裏付けがあるか、隠れた前提がないかといった視点で、各メリット・デメリットが本当に生じるといえるかを検討したか。 □各メリット・デメリットの重要性や生じる可能性を考えて、テーマに対する賛否を決めたり、修正提案をしたりしたか。	話すこと・聞くこと
	いきいきと描き出そう 短歌から始める物語	・情景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。 ・書いた物語を読み合っけて、材料の活用の仕方などについて意見を交換し、自分の考えを広げる。	・情景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作ったか。 □場面の情景をいきいきと、五感に訴えるように描き出したか。 □会話文や行動・態度の描写によって、人物の心情が伝わってくるように書いたか。 ・書いた物語を読み合っけて、材料の活用の仕方などについて意見を交換し、自分の考えを広げたか。 □元の短歌からの発想の広げ方や、物語の流れ、情景や人物の描写などについて意見を述べたか。 □意見交換を通して、さまざまな発想や、描写の工夫などに気づいて、自分の考えを広げたか。	書くこと

光村図書(2年)				
単元名	教材名	目標	振り返り	領域
アイスプラネット		・登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。 ・登場人物の考え方や生き方などについて、自分の経験などと関連づけて考えをもつ。	・「僕」の思いはどのように変わっていったか。 ・「ぐうちゃん」の考え方や生き方をどのように考えたか。	読むこと
	枕草子	・作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べてみよう。		読むこと

広がる学 びへ	多様な方法で情報を集めよう	・社会生活の中から紹介する事柄を決め、多様な方法で情報を集めるながら、自分の考えをまとめる。 ・書いた作品を読み合い、まとめ方や情報の活用のしかたなどについて助言し合う。	・どのようにして自分の考えをまとめたか。 □調べる方法を考え、多様な方法で情報を集めたか。 □集めた情報を検討して取舍選択しながら、自分の考えをまとめたか。 ・どのように文章にまとめ、助言し合ったか。 □伝えたい事を絞り、紙面構成を工夫したり、見出しを付けて読みやすくしたりしたか。 □まとめ方や情報の活用のしかた、書き手の見方などについて助言し合ったか。	書くこと
多様な視 点から	生物が記録する科学 —バイオロギングの可能性—	・文章の構成や、事実と思考の示し方に着目して、説明のしかたの特徴を捉える。 ・説明されている内容を的確に捉え、もの見方や考え方を広げる。	・本文の説明のしかたの特徴は、どのようなものだったか。 ・筆者の研究に対する姿勢や考え方は、どのような言葉や表現、説明のしかたから強く感じられたか。	読むこと
	魅力的な提案をしよう プレゼンテーションをする	・多様な方法で発表する材料を集め、聞き手を意識して材料を整理する。 ・資料や機器などを効果的に活用し、わかりやすい説明をする。	・聞き手が関心を示すようにどんな工夫をしたか。 □相手の知りたいことを想定し、多様な方法で材料を集めることができたか。 □伝えたいことが明確になるように、集めた材料を整理できたか。 ・聞き手の同意や理解が得られたか。 □機器などを使って資料を提示し、わかりやすく話すことができたか。	話すこと・ 聞くこと
	メディアと上手に付き合う ために	・さまざまなメディアの特徴を知り、適切な情報を選んで活用する。		読むこと
言葉と向 き合う	新しい短歌のために 言葉の力	・筆者のもの見方や表現のしかたなどを読み味わい、短歌の世界に親しむ。 ・「言葉の本質」についての筆者の意見を読み取り、自分の考えを深める。		読むこと
読書生活 を豊かに	二年一組のお薦め三十五冊	・本に関する情報を多様な方法で集める。 ・推薦する理由が伝わるように、表現や構成を工夫する。	□図書館やインターネットを利用して、本に関する情報を集めたか。 □推薦する理由が読み手に伝わるように、表現や構成を工夫したか。	読むこと
関わり の中で	盆土産	・作品の構成や登場人物の描写に着目して、人柄や心情を読み取る。 ・作品に描かれている優しさや温かさなどを、表現に即して読み味わう。	・登場人物の人柄や心情をどんな描写に着目して捉えたか。 ・どの場面のどんな表現から、優しさや温かさを感じたか。	読むこと
	字のない葉書	・人物の言動の意味を考え、人柄や心情を捉える。 ・父親に対する「私」の思いを捉え、自分の考えをもつ。	・どんな思いつきから、父親のどんな人柄や心情を捉えたか。 ・父親に対する「私」の思いについて、どのようなことを考えたか。	読むこと
	気持ちを込めて書こう	・伝えたい内容を明確にし、気持ちや用件が的確に伝わるように表現や構成を工夫する。 ・手紙の基本的な書き方を知り、相手や目的に応じた手紙を書く。	・伝えたい内容を明確にするために、どんな点に注意したか。 □相手や目的を意識して書いたか。 □気持ちや用件が的確に伝わるように、表現や構成を工夫したか。 ・手紙の書き方を理解したか。 □相手や目的に応じた言葉遣いやまとめ方を選んだか。 □形式に沿って書き、文章を推敲したか。	書くこと
	モアイは語る—地球の未来	・文章の構成や論の展開に着目して、筆者の主張を捉える。 ・論説を読み、筆者のもの見方や考え方について自分の考えをもつ。	・筆者の述べ方には、どんな工夫があったか。 ・筆者の主張に対して、自分の知識や体験と重ねてどんなことを考えたか。	読むこと
いにしえ の心を訪 ねる	扇の的	・古典の文章を朗読して、その独特の調子やリズムに慣れ、作品を読み味わう。 ・登場人物の心情を想像しながら読み、描かれたもの見方や考え方に触れる。	・古典の文章の調子やリズムについて、どんなことを感じたか。 ・登場人物の行動や心情から、どのようなもの見方や考え方を読み取ったか。	読むこと
	仁和寺にある法師 —徒然草から	・古典の文章を朗読してその表現に慣れ、作品を読み味わう。 ・登場人物の行動に着目し、作者のもの見方や考え方に触れる。	・どんなことに気をつけて文章を朗読したか。 ・作者のもの見方・考え方について、どんなことを感じたか。	読むこと
	漢詩の風景	・漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 ・漢詩に歌われている情景を想像し、昔の人の心情に触れる。	・漢詩特有の言葉遣いや調子はどんなところに表れていたか。 ・それぞれの漢詩から、どんな情景や心情を読み取ったか。	読むこと
論理を捉 えて	君は「最後の晩餐」を知っているか	・語句や表現の工夫に着目して、筆者のもの見方や考え方を捉える。 ・筆者の絵画の見方について、自分の知識や体験と関連づけて考えをまとめる。	・どんな言葉に着目して筆者の考え方を捉えたか。 ・筆者の絵画の見方について、自分はどうか考えたか。	読むこと
	話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする	・司会や発表者などの役割を決め、目的に沿って討論する。 ・相手の意見や考えを尊重し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げる。	・役割に応じて、協力して討論を進めたか。 □討論全体に対する自分の役割を意識しながら、意見を聞いたり発言したりしたか。 □討論の場で、補足・質問・反論ができたか。 ・意見について多角的に検討し、考えを広げたか。 □反論を想定して対策を考えたか。 □自分の考えと比較しながら発言を聞いたか。 自分の意見をもつことができたか。	話すこと・ 聞くこと
	根拠を明確にして意見を書こう	・社会生活の中から課題を決めて、情報を集め、自分の意見をもつ。 ・自分の意見とその根拠を明確にして、文章構成を工夫して書く。	□十分な情報を集めて、意見を決めたか。 □説得力のある意見文となるよう工夫したか。 □文章構成を工夫して書いたか。 □根拠となる事実を具体的に書いたか。 □反論を想定し、それに対する考えを示したか。	書くこと
表現を見 つめて	走れメロス	・描写や会話に着目して人物像の変化を捉え、作品を読み味わう。 ・作品を読み、登場人物の行動や考え方について、自分の考えをもつ。	・「メロス」や「王」の人物像がどのように変化したか。 ・「メロス」の行動や考え方について、どのように考えたか。	読むこと
	表現のしかたを工夫して書こう	・場面の様子や人物の気持ちが効果的に伝わるように、描写を工夫して書く。 ・書いた文章を互いに読み合い、意見や感想を交流し、自分の表現に役立てる。	・物語を書くとき、どのような工夫をしたか。 □場面の様子が効果的に書けたか。 □人物の気持ちが生き生きと書けたか。 ・書いた作品を読み合い、意見や感想を伝え合ったか。 □工夫された表現方法を見つけたか。	書くこと
	科学はあなたの中にある	・文章に述べられた事例と筆者の主張との関係を考えて、内容を読み取る。 ・筆者の「科学」に対する考え方について、知識や体験と結びつけて自分の考えをまとめる。	・「二つの話」は筆者の「科学」に対する見方や考え方は、どうつながっているか。 ・筆者の「科学」に対する見方や考え方について、自分はどうか考えたか。	読むこと
	一年間の学びを振り返ろう	・資料や機器などを効果的に活用して、自分の考えの要点を簡潔に説明する。 ・互いの考えについて意見を述べたり助言をしたりしながら、自分の考えを広げ、文章に生かす。	・発表のしかたは効果的だったか。 □資料や機器などを使って、内容をわかりやすく伝えられたか。 ・国語学習を振り返る報告書が書けたか。 □文章の構成や材料の活用について、友達の意見を聞いて考えを広げ、報告書に生かしたか。	話すこと・ 聞くこと 書くこと
	鍵	・言葉の意味を考えながら、作者が詩に込めた思いを捉える。		読むこと

教育出版(2年)		単元名	教材名	目標	振り返り	領域
言葉が照 らし出す	タオル	・描写の効果や登場人物の言動の意味に着目して、作品を読み深める。 ・少年の気持ちに変化することの意味について、自分の考えをもつ。	・描写の効果や登場人物の言動の意味に着目して、作品を読み深める。 □少年の気持ちに変化することの意味について、自分の考えをもつ。	読むこと		
	図表を用いて提案する	・台本をもとに、プレゼンテーションする。 ・図表などの資料を用いて、構成や展開を考えて話す。	・台本をもとに、プレゼンテーションする。 □図表などの資料を用いて、構成や展開を考えて話す。 □	話すこと・ 聞くこと		
	日本の花火の楽しみ	・筆者のもの見方や考え方を捉え、「日本の花火の魅力」についてまとめる。 ・全体と部分との関係に着目して文章を読む。	・筆者のもの見方や考え方を捉え、「日本の花火の魅力」についてまとめる。 □全体と部分との関係に着目して文章を読む。 □	読むこと		

関係を掘り起こす	新聞の投書記事を書く	・自分の意見(立場)によって投書記事を書く。 ・「構成の型」を用いて、文章を書く。	・自分の意見(立場)によって投書記事を書く。□ ・「構成の型」を用いて、文章を書く。□	書くこと
	漢字の広場1 まちがえやすい漢字	・似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。	・似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。□	言語
自己をひらく	夢を遊ぶ	・さまざまな方法で集めた情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。	・さまざまな方法で集めた情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。□	読むこと
	物語を読み解く—メディアの解釈— 漢字の広場2 漢字の成り立ち 近代の短歌	・言語表現を映像表現に変換することで、それぞれのメディアの特性を知り、解釈を広げる。 ・漢字の成り立ちについての理解を深める。 ・情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。	・表現のしかたを工夫して、物語を創作する。□ ・描写や比喩などを用いて、心情効果的に伝える。□ ・漢字の多義性についての理解を深める。□ ・登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。□ ・文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。□	読むこと 言語 読むこと
表現を夏つめる	夏の日列	・構成や展開の特徴を捉え、人物の心情の変化について感想を交流する。 ・人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解を深める。	・構成や展開の特徴を捉え、人物の心情の変化について感想を交流する。□ ・人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解を深める。□	読むこと
	写真から物語を創作する	・表現のしかたを工夫して、物語を創作する。 ・描写や比喩などを用いて、心情効果的に伝える。	・表現のしかたを工夫して、物語を創作する。□ ・描写や比喩などを用いて、心情効果的に伝える。□	書くこと
伝統を見いだす	漢字の広場3 漢字の多義性	・漢字の多義性についての理解を深める。	・漢字の多義性についての理解を深める。□	読むこと
	敬盛の最期—平家物語—	・登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ・文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。	・登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。□ ・文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。□	読むこと
お礼の手紙を書く	随筆の味わい—枕草子・徒然草—	・古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 ・言葉の意味を正確に捉えながら読み、筆者の思いを想像する。	・古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。□ ・言葉の意味を正確に捉えながら読み、筆者の思いを想像する。□	読むこと
	二千年五百年前からのメッセージ—孔子の言葉—	・表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。 ・文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。	・表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。□ ・文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。□	読むこと
坊っちゃん	お礼の手紙を書く	・相手や目的に応じて、お礼の手紙を書く。 ・推敲ポイントにそって手紙を推敲する。	・相手や目的に応じて、お礼の手紙を書く。□ ・推敲ポイントにそって手紙を推敲する。□	書くこと
	水光山 富士山	・わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。		読むこと
水光山 富士山	富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。	・富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。	・富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。□	読むこと
	取り上げている事例の提示の仕方と、問いと答えの関係を確かめながら読む。	・取り上げている事例の提示の仕方と、問いと答えの関係を確かめながら読む。	・取り上げている事例の提示の仕方と、問いと答えの関係を確かめながら読む。□	読むこと
ガイアの知性	自然や知性に対する筆者の考え方について、自分の考えをまとめる。	・自然や知性に対する筆者の考え方について、自分の考えをまとめる。	・自然や知性に対する筆者の考え方について、自分の考えをまとめる。□	読むこと
	文章の構成や展開、表現の仕方を確かめながら、筆者の考えの根拠を明確にして読む。	・文章の構成や展開、表現の仕方を確かめながら、筆者の考えの根拠を明確にして読む。	・文章の構成や展開、表現の仕方を確かめながら、筆者の考えの根拠を明確にして読む。□	読むこと
話を聞いて自分の考えと比べる	友達のスピーチを聞いて、自分の考えと比べる。	・友達のスピーチを聞いて、自分の考えと比べる。	・友達のスピーチを聞いて、自分の考えと比べる。□	話すこと・聞くこと
	論理の構成の仕方を評価しながら聞く。	・論理の構成の仕方を評価しながら聞く。	・論理の構成の仕方を評価しながら聞く。□	話すこと・聞くこと
意見文を読み合う	筆者の主張に対する意見文を書く。	・筆者の主張に対する意見文を書く。	・筆者の主張に対する意見文を書く。□	書くこと
	互いに読み合い、文章の表現を高める。	・互いに読み合い、文章の表現を高める。	・互いに読み合い、文章の表現を高める。□	書くこと
自己と対話する	学ぶ力	・筆者のものの見方や考え方を捉え、知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめる。 ・文章全体と部分との関係や、例示などの効果捉える。	・筆者のものの見方や考え方を捉え、知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめる。□ ・文章全体と部分との関係や、例示などの効果捉える。□	読むこと
	四コマ漫画から意見文を書く	・複数の考え方がある問題について、意見文を書く。 ・自分の主張の根拠を示して、文章を書く。	・複数の考え方がある問題について、意見文を書く。□ ・自分の主張の根拠を示して、文章を書く。□	書くこと
レモン哀歌	漢字の広場4 同音の漢字	・語りがける言葉に向き合って、思いと向き合う。		読むこと
	同音の漢字についての理解を深める。	・同音の漢字についての理解を深める。	・同音の漢字についての理解を深める。□	言語
考えを交流する	登場人物や語り手のものの見方や考え方についての理解を深め、自分の考えをもつ。	・登場人物や語り手のものの見方や考え方についての理解を深め、自分の考えをもつ。	・登場人物や語り手のものの見方や考え方についての理解を深め、自分の考えをもつ。□	読むこと
	描写や人称の使い分けなどに着目し、人物像や心情を表すうえでの役割や効果捉える。	・描写や人称の使い分けなどに着目し、人物像や心情を表すうえでの役割や効果捉える。	・描写や人称の使い分けなどに着目し、人物像や心情を表すうえでの役割や効果捉える。□	読むこと
役割を決めて討論する	目的や自分の役割をふまえて、グループで討論する。	・目的や自分の役割をふまえて、グループで討論する。	・目的や自分の役割をふまえて、グループで討論する。□	話すこと・聞くこと
	相手の意見を尊重し、自分の考えを広げる。	・相手の意見を尊重し、自分の考えを広げる。	・相手の意見を尊重し、自分の考えを広げる。□	話すこと・聞くこと
言葉1 方言と共通語	方言と共通語	・方言と共通語の特徴について知る。	・方言と共通語の特徴について知る。□	言語
	言葉2 話し言葉と書き言葉	・話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴捉える。	・話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴捉える。□	言語
言葉3 敬語	敬語	・敬語のはたらきや特徴について知る。	・敬語のはたらきや特徴について知る。□	言語
	言葉4 類義語・対義語・多義語・同音語	・日常生活で使う言葉、いつもと違った視点から捉え直す。	・日常生活で使う言葉、いつもと違った視点から捉え直す。□	言語
文法1 活用のない自立語	活用のない自立語	・活用のない自立語を理解する。	・活用のない自立語を理解する。□	言語
	文法2 活用のある自立語	・用言の活用と種類・用法を理解する。	・用言の活用と種類・用法を理解する。□	言語
文法3 付属語のいろいろ	付属語に	・付属語に	・付属語に	言語

単元名	教材名	目標	振り返り	領域
絆・仲間と共に	昔話	・言葉による成長を考える。 ・文末表現の特徴と効果捉える。	言葉の力 文末表現の特徴とその効果について考えることができた。 考え力 人間にとって記憶のもつ意味を考えることができた。 知識や技能 随想におけるテーマの捉え方について知ることができた。	読むこと
	逃げることは、ほんとにひきょうか	・社会の絆を考える。 ・独自の意味を表す表現捉える。	言葉の力 「勇気」「諦念」などの言葉の意味について考え、捉え直すことができた。 考え力 経験に照らしながら、行動の持つ意味について考えることができた。 知識や技能 キーワードから筆者の主張を把握する方法を知ることができた。	読むこと
絆・仲間と共に	吟味された言葉	・家族の絆の深まりを考える。 ・文脈による意味の変化捉える。	言葉の力 言葉が文脈の中で独自の意味を持つことを理解することができた。 考え力 家族の絆と深まりについて考えることができた。 知識や技能 たとえによる表現のおもしろさについて知ることができた。 学習を振り返る 次のような観点で学習を振り返ります。 ①プレゼンテーションをしてみたいこと 五つ書き出し、特に大事だと思ふものから順に並べてみよう。 ②なぜその順番で大事だと思ったのか、説明してみよう。 ③今後プレゼンテーションをする時に気をつけたいことを書いてみよう。	読むこと
	話す・聞く1 魅力を伝えよう プレゼンテーション	・プレゼンテーションの方法を身につける。	言葉の力 気持ちの変化を表す言葉に着目し、変化を表現に即して説明することができた。 考え力 「僕」がサーカスの馬にひかれた理由、意味について考えることができた。 知識や技能 一人称の語り手と人物の違いが理解できた。	話すこと・聞くこと
絆・仲間と共に	サーカスの馬	・仲間と共にある生を考える。 ・表現細部の違いから心理捉える。	言葉の力 気持ちの変化を表す言葉に着目し、変化を表現に即して説明することができた。 考え力 「僕」がサーカスの馬にひかれた理由、意味について考えることができた。 知識や技能 一人称の語り手と人物の違いが理解できた。	読むこと

生命・命の交差	クリスマスの仕事	・支え合う生を考える。 ・表現の持つ重層的な意味を捉える。	言葉の力 題名の意味や、人物の言葉について考えることができた。 考える力 支え合う生について考えることができた。 知識や技能 言葉に重なっている意味を分けて理解することができた。	読むこと
	短歌十五首	・短歌に込められた思いや情景を捉える。 ・短歌表現の工夫を捉える。	言葉の力 短歌表現の工夫を捉え、音読に生かすことができた。 考える力 短歌に込められた思いや情景について考えることができた。 知識や技能 連作短歌について知り、そのよさを捉えることができた。	読むこと
	地下水	・成長の意味を考える。 ・表現の細部を吟味する。	言葉の力 詩的な表現の意味を、文脈をたどりながら捉えることができた。 考える力 詩的な表現をきっかけにして成長についての考えを深め、それを書くことができた。 知識や技能 詩的な表現を工夫する作者のねらいを捉えることができた。	読むこと
	父のようにはなりたくない	・認識を獲得するまでの変化について考える。 ・体験から認識を引き出す方法を捉える。	言葉の力 体験を表現する方法について理解することができた。 考える力 新しい認識を獲得することについて考えることができた。 知識や技能 表現が重なる意味を持つことについて知ることができた。	読むこと
	書く1 想像する言葉 物語・詩を作る	・想像を膨らませて物語や詩を書く。		書くこと
群像・発見と行動	情報と表現1 情報を読む・世界を編集する 世界を編集する知恵		学習を振り返ろう 「情報の背後に人を感じる」とことや情報がどのように「編集」されているかを見極めることについて、二人の活動を通して考えたことを短い文章にまとめ、発表しよう。	
	坊っちゃん(一・抄) 孫が読む漱石一坊っちゃん	・小説の見方・読み方を学ぶ。	言葉の力 名作と呼ばれる小説の新たな捉え方や見方を学んだ。 考える力 小説を読むことの意味について考えることができた。 知識や技能 近代作家の創作活動について知ることができた。	読むこと
	種をまく人	・信頼関係が生まれる過程を考える。 ・人物像を捉える。	言葉の力 さまざまな観点から人物像を捉え、説明することができた。 考える力 人の絆、信頼関係が生まれる過程について考えることができた。 知識や技能 朗読によって表現する際の工夫について知ることができた。	読むこと
	走れメロス	・信頼関係の動揺について考える。 ・視点を変えて出来事や心情を捉える。	言葉の力 メロスの心の動きを表現に即して捉えることができた。 考える力 自分なりの読みをし、また、それに基づいて他の人の読みと比べながら考えることができた。 知識や技能 語り手と人物との関係、主題との対応について理解することができた。	読むこと
	花いちもんめ	・運命に抗う生き方について考える。 ・戯曲の技法と特色を捉える。	言葉の力 言葉にこだわりながら朗読発表をすることができた。 考える力 人物の置かれた状況について考え、人物の行動について意見を発表し合うことができた。 知識や技能 戯曲の表現について知ることができた。	読むこと
伝統・時の中で	話す・聞く2 対立した立場で意見を深める ディベートによる討論	・意見を深める方法を知り、実践する。	ディベートを振り返る ディベートの対戦後に、立場を離れて、話題やディベートの対戦、判定の適否等について自由に話し合う場を設けてはどうでしょうか。また、そこで話し合ったことを書いてみることで、論題についての自分の考えや、ディベートという討論形式についての理解がより深まるでしょう。	話すこと・聞くこと
	若者が文化を創造する	・文化とは何かを考える。 ・段落相互の関係を整理して読む。	言葉の力 評論から学んだことをもとに、構成を考えて文章を書くことができた。 考える力 文化とは何かについて考えることができ、自分なりのテーマについて観点に基づいて整理することができた。 知識や技能 段落相互の関係を整理し、表現に生かすことができた。	読むこと
	源平争乱の歴史語り —平家物語	・語り方に着目して、登場人物の人物像や心情を捉える。 ・場面ごとの登場人物の心情を想像して朗読する。	言葉の力 場面や心情を想像して朗読を工夫することができた。 考える力 語り方に着目して人物像や心情を捉えることができた。 知識や技能 場面や心情の理解を生かして朗読することができた。	読むこと
目撃者の眼 挨拶 原爆の写真によせて	人の世と人の心のスケッチ —徒然草	・語り方に着目して、筆者の発見を掘り下げる。 ・筆者の発見がよく伝わるように音読する。	言葉の力 筆者の思いを捉えて音読を工夫することができた。 考える力 語り方に着目して筆者の発見を掘り下げることができた。 知識や技能 筆者や内容についての理解を生かして音読することができた。	読むこと
	論語	・思索の内容を自分の知識や経験で補い、生き生きと捉える。 ・漢文でよく出てくる字に注意して訓読し、漢文の訓読に親しむ。	言葉の力 孔子の思索を場面に位置づけ捉えることができた。 考える力 孔子の思索を生き生きと捉えることができた。 知識や技能 訓読法に慣れ訓読調に親しむことができた。	読むこと
	書く2 意見文を書こう	・意見を効果的に述べる文章の作り方を知る。	言葉の力 オダネルの思いについて考え、表現することができた。 考える力 オダネルや石垣が会った状況にどう向き合ったか、考えることができた。 知識や技能 写真と言葉との表現の違いについて知ることができた。	書くこと

世界-状況の中で	アラスカとの出会い	・他者との関わりを求める自己を考える。 ・構成や展開の工夫を捉える。	言葉の力 人生の不思議さについて考えを書くことができた。 考える力 人や本との出会いの意味について考えることができた。 知識や技能 文章の構成や展開の工夫について理解することができた。	読むこと
	プロセスの建築	・物を作るということを通じた社会との関わりについて考える。 ・体験を文章化する方法を捉える。	言葉の力 筆者の建築についての考えを理解し、自分なりの考えを述べることができた。 考える力 物を作るということの意味について考えることができた。 知識や技能 体験や思いを表現する上での工夫について知ることができた。	読むこと
	情報と表現2 言葉で伝える 手紙とメール		学習を振り返ろう これまでの学習を振り返って、「手紙でしか言えないこと」とは、あなたにとってどんなことなのか、考えてみましょう。そしてそれは、電子メールでも言えることなのかどうかについても、考えてみましょう。	
	宇宙が叫ぶ—梵鐘・歓喜	・筆者の発想と表現を見つめ、芸術創作について考える。	言葉の力 筆者の発想を表す言葉捉えることができた。 考える力 筆者の芸術創作の姿勢について考えることができた。 知識や技能 感動を表現する言葉について知ることができた。	読むこと
	過去を越える回想の力 —井上靖・歴史小説の世界	・歴史を素材にした創作を読み、歴史小説の表現について考える。	言葉の力 二つの作品の特徴について考えることができた。 考える力 歴史小説の魅力について考えることができた。 知識や技能 歴史小説の特徴について知ることができた。	

三省堂(2年)				
単元名	教材名	目標	振り返り	領域
学びの扉をひらく	目づかれた葉	・リズムを感じ取りながら繰り返し音読して、詩に込められた思いを捉える。	□リズムを感じ取りながら繰り返し音読して、詩に込められた思いを捉える。	読むこと
	小さな手袋	・登場人物の会話や行動から、心情の変化を読み取る。 ・登場人物どうしの交流をとらえて、人と人との触れ合いについて自分の考えをもつ。	□登場人物の会話や行動から、心情の変化を読み取る。 □登場人物どうしの交流をとらえて、人と人との触れ合いについて自分の考えをもつ。	読むこと
情報を読み解く	人間は他の星に住むことができるのか	・文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・文章の構成について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。	□文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 □文章の構成について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。	読むこと
	資料や機器を効果的に活用する プレゼンテーション	・話し手の意図や話の内容を分かりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して話す。 ・異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、構成を工夫して説得力のある発表をする。	目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	話すこと・聞くこと
ことばを磨く	短歌の世界	・短歌のリズムや表現方法などの特徴を理解して、作品の内容を捉える。 ・情景や心情を表す語句に注意して、短歌の世界を読み味わう。	□短歌のリズムや表現方法などの特徴を理解して、作品の内容を捉える。 □情景や心情を表す語句に注意して、短歌の世界を読み味わう。	読むこと
	読みたくなるしゅみを工夫する 創作文	・作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書く。 ・作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。	目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	書くこと
視野を広げる	壁に残された伝言	・発見された事実について内容を読み取り、取材した筆者の思いを捉える。 ・「伝言」という表現に着目して、筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。	□発見された事実について内容を読み取り、取材した筆者の思いを捉える。 □「伝言」という表現に着目して、筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。	読むこと
	推論と対話で考えを広げる 主張文	・自分の立場や考えとともに、それを支える事実や事柄を明らかにして、文章の構成を工夫する。 ・書いた文章を読み合い、互いの主張や表現の仕方について意見を交流して、自分の考えを広げる。	目標をもう一度確認しながら学習を振り返りましょう。	書くこと
古典に学ぶ	枕草子・徒然草	・自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。	□自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 □古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。	読むこと
	「超訳」に挑戦	・書きぶりや形式を工夫して、イメージや特徴が効果的に伝わるようにして書く。	昔の人の思いやその時代の風景を自分らしく表現できました。	書くこと
	平家物語	・仮名遣いや語句の意味に注意しながら朗読し、古典のリズムを味わう。 ・場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えをもつ。	□仮名遣いや語句の意味に注意しながら朗読し、古典のリズムを味わう。 □場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えをもつ。	読むこと
分析的に考える	漢詩の世界	・漢詩独特の言葉づかいや調子を捉えて、漢詩の世界を読み味わう。 ・漢詩に描かれた情景を想像し、古人の心情を捉える。	□漢詩独特の言葉づかいや調子を捉えて、漢詩の世界を読み味わう。 □漢詩に描かれた情景を想像し、古人の心情を捉える。	読むこと
	動物園でできること	・文章の全体と部分の関係や、例示の効果などに注意して、筆者の主張を読み取る。 ・筆者の動物園に対する考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。	□文章の全体と部分の関係や、例示の効果などに注意して、筆者の主張を読み取る。 □筆者の動物園に対する考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。	読むこと
	異なる立場や考えを尊重して パネルディスカッション	・決めた話題について、取材や調査などで情報を集めて整理する。 ・話の構成に注意して、要点を捉えたり自分の考えと比べてたりしながら聞く。 ・異なる立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら話し合い、自分の考えを広げる。	目標をもう一度確認しながら学習を振り返りましょう。	話すこと・聞くこと
読みを深め合う	大阿蘇	・詩の表現技法とその効果を理解し、詩に描かれた情景を読み取る。 ・眼前に展開する自然の姿を捉え、想像豊かに朗読する。	□詩の表現技法とその効果を理解し、詩に描かれた情景を読み取る。 □眼前に展開する自然の姿を捉え、想像豊かに朗読する。	読むこと
	走れメロス	・場面ごとのできごとを手がかりとして、作品の構成の特徴について考えをまとめる。 ・登場人物の言動の意味を捉え、それぞれの人物の考え方について読み深める。	□場面ごとのできごとを手がかりとして、作品の構成の特徴について考えをまとめる。 □登場人物の言動の意味を捉え、それぞれの人物の考え方について読み深める。	読むこと
思いを伝える	達人のこぼれ	・二つの文章を読み比べ、共通点と相違点を考えながら、内容を読み取る。 ・達人たちのこぼれに表れたものの見方を捉え、仕事や生き方について意見をもつ。	□二つの文章を読み比べ、共通点と相違点を考えながら、内容を読み取る。 □達人たちのこぼれに表れたものの見方を捉え、仕事や生き方について意見をもつ。	読むこと
	わかりやすく、心をこめて書く 手紙	・自分の立場と伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式を踏まえながら構成を工夫して書く。 ・相手や目的に応じて、事柄が正しくわかりやすく、気持ちが十分に伝わる書き方になるように推敲する。	目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	書くこと
つながりを考える	対話劇を体験しよう	・対話劇とその振り返りの話し合いをとおして、話しことばの特徴やコミュニケーションについての考えを広げる。	本物らしく演じてみて、どのようなことに気づきましたか。	話すこと・聞くこと
	ポテト・スープが大好きな猫	・場面の展開や登場人物の描写などに注意して、関係や心情を読み取る。 ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。 ・目的に応じて会議を開き、互いの発言を検討して考えを広げる。	□場面の展開や登場人物の描写などに注意して、関係や心情を読み取る。 □登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。	読むこと
	ふるさとの見つけ直す 地域情報誌	・地域の特色や課題について、取材や調査などで集めた情報を検討し、文章にまとめる。	目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	書くこと・話すこと・聞くこと

東京書籍(3年)				
単元名	教材名	目標	振り返り	領域
言葉を磨く	二つのアザミ	・表現の工夫に注意して、筆者の考えを捉える。		読むこと
	俳句の読み方、味わい方 俳句を作って句会を開こう	・表現の工夫に注意して、俳句を読み味わう。 ・俳句のよさを評価してまとめる。 ・俳句を作って互いに読み合い、作品のよさを評価する。		読むこと 書くこと
作品を論じる	形	・場面や登場人物の設定の仕方を捉えて、作品を読み味わう。 ・場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を評価する。		読むこと
	百科事典少女 評価しながら聞こう	・場面や登場人物の設定の仕方を捉えて、作品を読み味わう。 ・場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を評価する。 ・さまざまな観点から評価しながら聞き、自分の考えや表現に生かす。		読むこと 話すこと・聞くこと
文章の展開を考える	絶滅の意味	・論の進め方に着目して、筆者の主張を捉える。 ・人間社会と自然との関わりについて考え、自分の意見を持つ。		読むこと
	編集して伝えよう 「環境」のミニ雑誌	・知識や体験をもとに、構成を工夫し、内容を膨らませて文章を書く。 ・書いた文章を読み返し、推敲して紙面を仕上げる。	・知識や体験をもとに、構成を工夫し、内容を膨らませて文章を書いたか。 □調べたことをもとに自分なりの表現でまとめ直したり、体験を具体的に描写したりして、内容を膨らませたか。 □文章の形式を選び、分かりやすい文章や読み手をひきつける文章になるよう、構成を工夫して書いたか。 ・書いた文章を読み返し、推敲して紙面を仕上げたか。 □下書きを検討し、言い換えたり、書き足したり、削ったりして、文章をよりよいものに直したか。 □直した文章を丁寧に清書して、紙面を仕上げたか。	書くこと
多面的に検討する	黄金の扇風機	・文章を読み比べて、論の進め方や表現について評価する。 ・文章を読み比べて、文章の内容について自分の考えを持つ。		読むこと
	サハラ砂漠の茶会	・文章を読み比べて、論の進め方や表現について評価する。 ・文章を読み比べて、文章の内容について自分の考えを持つ。		読むこと
	観察・分析して論じよう 批評文	・批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下す。 ・論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。 ・書いた批評文を読み合って評価し、もの見方や考え方を深める。	・批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下したか。 □対象の特徴をよく観察し、表現効果や作り手の意図を分析したか。 □観点を決めて対象を比較し、考えを深めたいうえで、自分なりの最終的な判断を下したか。 ・論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書いたか □根拠を具体的に記述して、結論が明確に伝わるように論の進め方を工夫したか。 □資料を参考にしたり引用したりして、批評文に生かしたか。 ・書いた批評文を読み合って評価し、もの見方や考え方を深めたか。 □批評文を読み合って、論の進め方や表現の工夫などを評価し、話し合ったか。 □他の人のもの見方や考え方、文章の書き方などについて、気づいたことや学んだことを書き留めたか。	書くこと
	場面に応じて話そう 条件スピーチ	・体験や知識を整理し、目的や相手、時間を意識して、話す内容や話し方を考える。 ・敬語を適切に使い、場の状況や相手に応じた話し方を考える。	・体験や知識を整理し、目的や相手、時間を意識して、話す内容や話し方を考えたか。 □目的や相手、時間に応じて自分の体験や知識を再構成したか。 □目的や相手に応じた話し方を考え、聞き手に分かりやすい言葉を選んだか。 ・敬語を適切に使い、場の状況や相手に応じた話し方をしたか。 □敬語を正しく使い、場の状況や相手に応じた言葉遣いで話したか。 □聞き手の様子に応じて、言い換えや補足、問いかけなどをし、理解を深めてもらうための工夫をしたか。	話すこと・聞くこと
伝統文化に親しむ	万葉・古今・新古今	・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら、和歌の世界に親しむ。 ・和歌の意味や使われている技法に注意して、鑑賞文をまとめる。		読むこと
	おのほそ道	・当時の状況や作者の思いを捉え、古典の世界に親しむ。 ・構成や表現の特徴と、その効果について考える。		読むこと
	論語	・古人の言葉を読み味わい、自分の文章に生かす。 ・古人の言葉を引用し、自分の文章を書く。		読むこと
関係を読む	故郷	・場面の展開と人間関係の変化を捉えて、作品を読み深める。 ・作品を読んで、社会の中で生きる人間について考え、自分の意見を持つ。		読むこと
思いを馳せる	いつものように新聞が届いた	・情報の意義とメディアの役割について考えを深める。		読むこと
	話し合いで問題を解決しよう チャート式討論	・話し合いが効果的に展開するように、進行の仕方を工夫する。 ・問題の解決に向けて、お互いの考えを生かし合う。	・話し合いが効果的に展開するように、進行の仕方を工夫したか。 □論点を明らかにし、議論の順序を考えてチャートに整理したか。 □チャートをもとに話し合いの方向を捉え、必要に応じて軌道修正をしたか。 ・問題の解決に向けて、お互いの考えを生かし合ったか。 □相手の意見を正しく理解し、異なる意見にも共通点を見つけようとしたか。 □自分の意見にこだわりすぎず、問題解決のために、お互いの意見のよいところを生かし合ったか。	話すこと・聞くこと
	今の思いをまとめよう 時を越える手紙	・中学校生活を振り返ったり将来を展望したりして、思いを手紙にまとめる。 ・下書きした手紙を読み返し、文章を整えて清書する。	・中学校生活を振り返ったり将来を展望したりして、思いを手紙にまとめたか。 □中学校生活や将来について、自分の思いを見つめ直したか。 □書きたい内容を絞って、自分の思いを手紙にまとめたか。 ・下書きした手紙を読み返し、文章を整えて清書したか。 □書き間違いや分かりにくいところがないかを確認し、手紙の形式を意識して、文章を整えたか。 □文章を丁寧に清書して、手紙を完成させたか。	書くこと

光村図書(3年)				
単元名	教材名	目標	振り返り	領域
深まる学びへ	攫手	・登場人物の置かれた状況や言動に着目して、人物像を捉える。 ・登場人物の生き方や考え方を捉え、人間や社会について自分の意見を持つ。	・どんな点に着目して「ルロイ修道士」の人物像を考えたか。 ・登場人物のどんな生き方や考え方が印象に残ったか。	読むこと
	学んで時にこれを習ふ 「論語」から	・人間の生き方についての孔子の考え方を自分たちの生活と関連づけて考えよう。		読むこと

	社会との関わりを伝えよう 相手や目的に応じたスピーチをする	・自分の体験や知識を整理して、話す内容を定める。 ・話す相手や目的を意識して、資料を活用したり話し方を工夫したりする。	・どのような観点で話題を決めたか。 □自分の体験や知識を整理して話題を決めたか。 ・どのようなことか。 □相手と目的を明確にして、内容や構成を考えたか。 □場面や相手の様子を考えて、話し方を工夫したか。	話すこと・ 聞くこと
視野を広げて	月の起源を探る	・説明の順序や図の使い方に着目して、内容を捉える。 ・筆者の科学的なものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。	・説明の順序などに、どのような工夫がなされていたか。 ・筆者の科学的なものの見方や考え方について、文章のどこに着目して考えたか。	読むこと
	魅力的な紙面を作ろう 修学旅行記を編集する	・内容にふさわしい文章の形態や素材を選び、紙面構成を工夫して書く。 ・書いた文章を読み返し、文章構成や表現、紙面の体裁を整える。	・どんな点に注意して文章の形態を選び、書いたか。 □伝えたい内容を明確にしたか。 □内容にふさわしい形態を選び、その形態の特徴を踏まえて書いたか。 ・どんな点を工夫して編集したか。 □素材の配置を考え、効果的な紙面構成にしたか。 □書いた文章を読み返し、表現や体裁を整えたか。	書くこと
	「思いのり」に加わろう	・現代のメディアの特徴を知り、情報発信の意義と注意点を考える。		読むこと
言葉を見つめる	俳句の可能性	・筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。		読むこと
	「批評」の言葉を探る	・「批評する言葉」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。		読むこと
読書生活を豊かに	未来の私にお薦めの本 読書生活をデザインしよう	・これまでの読書生活を振り返り、本との関わり方について考える。 ・今後読みたい本について考えを広げる。	□読書記録などを振り返り、自分の読書生活について分析したか。 □読みたい本を挙げ、今後の読書生活について考えたか。	読むこと
	挨拶—原爆の写真によせて	・比喩や象徴的な表現に着目し、作者のものの見方や考え方を捉える。 ・話に表現されている内容と、現代社会の状況を重ね合わせながら考えを深める。	・作者のものの見方や考え方は、どんな表現に表れていたか。 ・どのような内容が現代社会の状況に重なるかと考えたか。	読むこと
状況の中で	故郷	・場面や登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。 ・時代や社会の変化の中での、人と人との関わりについて考えをもつ。	・現在と回想を対比させた設定から、どんなことが表現されていたか。 ・作品のどんなところに着目して、社会や人と人との関わりについて考えたか。	読むこと
	新聞の社説を比較して読む	・論説を読み比べ、主張や論理の展開、表現のしかたを評価する。 ・一つの話題に関する複数の文章を読み、ものの見方や考え方を広げる。	・論説を読み比べる観点には、どのようなものがあったか。 ・社説のどのような見方や論じ方を生かして文章を書いたか。	読むこと
いにしへの心と語らう	君待つと—万葉・古今・新古今	・効果的な表現や語句の使い方に着目して、和歌を読み味わう。 ・和歌に表れた昔の人の心情や情景を読み取る。	・和歌にどんな表現上の特徴があったか。 ・それぞれの和歌に詠まれた心情や情景から、どんなことを感じたか。	読むこと
	夏草—「おくのほそ道」から	・古典の文章を、表現のしかたや文体の特徴に着目して読み味わう。 ・歴史的背景などを考えながら、作者のものの見方や感じ方を読み取る。	・「夏草」は、表現や文体にどのような特徴があったか。 ・文章や俳句から、芭蕉のどんなものの見方や感じ方を捉えたか。	読むこと
論旨を捉えて	作られた「物語」を越えて	・筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して、主張を捉える。 ・筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつ。	・筆者はどのような手順で主張を導き出していたか。 ・筆者の主張は、文章中のどの部分に表れていたか。	読むこと
	話し合っ提案をまとめよう 課題解決に向けて会議を開く	・社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をする。 ・話し合いが効果的に展開するように進行を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かしながら話し合う。	・どんな点に気をつけて説得力のある提案にしたか。 □提案の根拠や意義、反論を考えたか。 ・課題を解決するためにどんなことに注意したか。 □話し合いの進捗を意識して発言したか。 □論点を整理し、それぞれの提案の長所を生かしてよりよい結論にまとまるよう話し合ったか。	話すこと・ 聞くこと
	説得力のある文章を書こう 批評文を書く	・社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。 ・論理の展開や表現のしかたを工夫し、説得力のある文章を書く。	・どのような点に注意して情報を分析したか。 □観点を決めて分析したり比較したりしたか。 □別の角度からも検討し、考えを深めたか。 ・どのような工夫をして文章にまとめたか。 □資料を適切に引用し、説得力をもたせたか。 □論理の展開や表現を工夫してまとめたか。	書くこと
未来へ向かって	三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う	・三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。 ・発表内容や書いた作品を評価し合い、ものの見方や考え方を深める。	・三年間の学習をどのように振り返り、まとめたか。 □これまでの記録を見直し、観点を明確にして学びを整理したか。 □考えたことや整理したことが伝わる構成を工夫したか。 ・書いた作品や発表内容をどのように評価し合ったか。 □友達との発表を聞いて、新たに気づいたことがあったか。 □自分のものの見方や考え方が深まったか。	話すこと・ 聞くこと・ 書くこと

教育出版(3年)		目標	振り返り	領域
言葉を探る	春に 立って春	・言葉の中の春を読む。 ・表現上の工夫とその効果に注意して読み、作品の魅力を味わう。	・表現上の工夫とその効果に注意して読み、作品の魅力を味わう。 □	読むこと
	私 広告を批評する	・場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深める。 ・作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。 ・広告を比較して、批評文を書く。 ・効果的な構成について自分の考えを深める。	・場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深める。 □ ・作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。 □ ・広告を比較して、批評文を書く。 □ ・効果的な構成について自分の考えを深める。 □	読むこと 書くこと
	漢字の広場1 異音・漢音・唐音	・漢字の音の歴史についての理解を深める。	・漢字の音の歴史についての理解を深める。 □	言語
	関係を生きる	・筆者のものの見方や考え方をともに、理科系と文科系の知識の関係について自分の意見をもつ。 ・文章における論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方を理解する。 ・講演を聞き、話の内容や話し方のよい点に学ぶ。 ・話を聞き、自分のものの見方や考え方を深める。	・筆者のものの見方や考え方をともに、理科系と文科系の知識の関係について自分の意見をもつ。 □ ・文章における論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方を理解する。 □ ・講演を聞き、話の内容や話し方のよい点に学ぶ。 □ ・話を聞き、自分のものの見方や考え方を深める。 □	読むこと 話すこと・ 聞くこと
歴史をく	漢字の広場2 熟字訓	・熟字訓についての理解を深める。	・熟字訓についての理解を深める。 □	言語
	歴史をく 無言館の青春 情報を編集するしかけ —メディアにひそむ意図—	・目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。 ・同一の新聞記事・テレビニュースの報道を比較して読む。	・目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。 □ □これまでの記録を見直し、観点を明確にして学びを整理したか。	読むこと
論理を問う	歴史は失われた過去か	・「歴史の記憶」の価値とはどのようなことか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。 ・事例の取り上げ方や述べ方の工夫を捉え、筆者の提起している課題を共有する。	・「歴史の記憶」の価値とはどのようなことか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。 □ ・事例の取り上げ方や述べ方の工夫を捉え、筆者の提起している課題を共有する。 □	読むこと
	文化としての科学技術	・筆者は現代の「科学技術」をどのように捉えているのか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。 ・事例と主張の関係捉え、筆者の提起している課題を共有する。	・筆者は現代の「科学技術」をどのように捉えているのか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。 □ ・事例と主張の関係捉え、筆者の提起している課題を共有する。 □	読むこと
文化を学ぶ	図表などの資料から文章を書く	・図表を読み取り、条件をふまえて、意見文を書く。 ・引用の仕方や論理の展開に注意し、文章を書く。	・図表を読み取り、条件をふまえて、意見文を書く。 □ ・引用の仕方や論理の展開に注意し、文章を書く。 □	書くこと
	旅への思い —芭蕉と「おくのほそ道」—	・情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ・歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解して味わう。	・情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 □ ・歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解して味わう。 □	読むこと
	和歌の調べ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集—	・古人のものの見方や考え方について、話し合ったり、文章を書いたりして、自分の考えを深める。 ・和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、響きを味わう。	・古人のものの見方や考え方について、話し合ったり、文章を書いたりして、自分の考えを深める。 □ ・和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、響きを味わう。 □	読むこと

なく	和歌の鑑賞文を書く	・自分の表現を高めるために、和歌の鑑賞文を書く。 ・より適切な表現を目ざし、文章全体を整える。	・自分の表現を高めるために、和歌の鑑賞文を書く。□ ・より適切な表現を目ざし、文章全体を整える。□	書くこと
	風景と心情—漢詩を味わう—	・歴史的背景をふまえて話し合い、情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ・詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。	・歴史的背景をふまえて話し合い、情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。□ ・詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。□	読むこと
語りと向き合う	最後の一句	・わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。		読むこと
	漢字の広場3 異字同訓 近代の俳句 初恋	・漢字同訓についての理解を深める。 ・言葉の意味を掘り起こして読む。 ・表現上の工夫に注意して、暗唱する。	・異字同訓についての理解を深める。□	言語 読むこと 読むこと
語りと向き合う	故郷	・「私」の抱いた「希望」や社会の中での人間の生き方について考え、自分の意見をもつ。 ・場面や登場人物の設定のされ方、構成や展開に着目し、作品を批評する。	・「私」の抱いた「希望」や社会の中での人間の生き方について考え、自分の意見をもつ。□ ・場面や登場人物の設定のされ方、構成や展開に着目し、作品を批評する。□	読むこと
	自己PR文を読み合う	・中学校生活を振り返り、自己PR文を書く。 ・文章を読み合い、自分の表現に生かす。	・中学校生活を振り返り、自己PR文を書く。□ ・文章を読み合い、自分の表現に生かす。□	書くこと
対話をひらく	スピーチで学びを振り返る	・経験を整理し、スピーチで自分のよさを伝える。 ・敬語を用いて、場の状況や聞き手に応じて話す。	・経験を整理し、スピーチで自分のよさを伝える。□ ・敬語を用いて、場の状況や聞き手に応じて話す。□	話すこと・聞くこと
	漢字の広場4 四字熟語 課題を解決するために話し合う	・四字熟語についての理解を深める。 ・進行的な仕方を工夫して、話し合いを深める。 ・課題の解決に向け、互いの考えを生かし合う。	・四字熟語についての理解を深める。□ ・進行的な仕方を工夫して、話し合いを深める。□ ・課題の解決に向け、互いの考えを生かし合う。□	言語 話すこと・聞くこと
対話をひらく	自分の作品集をつくる	・テーマを決めて、作品集をつくる。 ・テーマに合った、文集の形態などを選択する。	・テーマを決めて、作品集をつくる。□ ・テーマに合った、文集の形態などを選択する。□	書くこと
	パースディ・ガール 花を贈る	・自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。 ・文章の表現の仕方を評価し、筆者の「哲学的」な考え方に對して、自分の考えを深める。		読むこと 読むこと
言葉と文法解説編	言葉1 和語・漢語・外来語 言葉2 慣用句・ことわざ 言葉3 敬語	・和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。 ・慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。 ・敬語の社会的役割について理解する。	・和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。□ ・慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。□ ・敬語の社会的役割について理解する。□	言語 言語 言語
	文法1 活用のない付属語 文法2 活用のある付属語 文法3 文の組み立て 文法4 文法的に考える	・付属語の用法を知り、自分で考えてみる。 ・付属語の役割について理解する。 ・文の組み立ての捉え方を身につける。 ・さまざまな事例について、日常言語に照らして理解する。	・付属語の用法を知り、自分で考えてみる。□ ・付属語の役割について理解する。□ ・文の組み立ての捉え方を身につける。□ ・さまざまな事例について、日常言語に照らして理解する。□	言語 言語 言語 言語

学校図書(3年)				
単元名	教材名	目標	振り返り	領域
絆—社会に向けて	言葉の共有	・言葉共有することによる成長を考える。 ・文章展開の特徴と効果捉える。	振り返り 言葉の力 生徒の成長について筆者の心情を分かりやすく説明することができた。 考える力 言葉が共有されていくことの意味について考えることができた。 知識や技能 経験や体験とそこから筆者が考えたことを分けることができた。	読むこと
	ケナリも花、サクラも花	・言葉や国を超えたコミュニケーションを考える。 ・表現から人物の思いを捉える。	言葉の力 表現に即して人物の思いを捉えることができた。 考える力 国や言葉を超えたコミュニケーションのあり方を考え、話し合うことができた。 知識や技能 題名や文章中のキーワードの持つ役割を捉えることができた。	読むこと
	Water	・中間の絆の深まりを考える。 ・会話表現・心理表現の特徴と効果捉える。	言葉の力 会話表現や心理表現から登場人物の中心を捉え、説明することができた。 考える力 人と人との関係について考えることができた。 知識や技能 比喩表現など表現の特徴を捉え、その意味や効果を捉えて読むことができた。	読むこと
	話す・聞く! 世界に届ける言葉 パブリックスピーキング	・演説の仕方を考えて実践する。	言葉の力 パブリックスピーキングを振り返る パブリックスピーキングをする上で大切なのはどういうことでしょうか。学習を振り返って、考えたことをグループで話し合いましょう。	話すこと・聞くこと
生命—命の共鳴	糧手	・歴史の中の生を考える。 ・モチーフの使い方の違いから意味や心理を捉える。	言葉の力 「手」や「指」というモチーフに込められた意味や心理を捉え、整理することができた。 考える力 「ルロイ先生」や「私」など登場人物の生き方について考えることができた。 知識や技能 語りの特徴や効果を捉えることができた。	読むこと
	輝ける間	・歴史に翻弄される生を考える。 ・比喩の効果捉える。	言葉の力 戦争に翻弄される登場人物の思いを整理することができた。 考える力 「私」を巡る戦争という状況について考えることができた。 知識や技能 比喩表現が持つ効果について捉えることができた。	読むこと
	俳句十五首	・俳句表現に込められた思いや情景を捉える。 ・俳句特有の表現捉える。	言葉の力 俳句表現の工夫を捉え、音読に生かすことができた。 考える力 俳句に込められた思いや情景について考えることができた。 知識や技能 季語など俳句特有の表現の働きについて捉えることができた。	読むこと
	存在	・自己の意味を考える。 ・風刺の意味捉える。	言葉の力 詩的な表現に込められた風刺を捉えることができた。 考える力 詩的な表現をきっかけにして自己のあり方について考えを深め、話し合うことができた。 知識や技能 思いの変化を詩的に表現する方法を捉えることができた。	読むこと
黒い雨		・認識力の限界について考える。 ・認識を超えた体験を記述する方法捉える。	言葉の力 戦争の中にいた人々のエピソードを捉え、まとめることができた。 考える力 大きな戦争や災害の渦中の人々の苦しみや困難な状況について考えることができた。 知識や技能 描写の特徴や記述の方法を捉えることができた。	読むこと
	書く! 批評する言葉 批評文を書く	・友達と一緒に批評の言葉を見つける。	学習を振り返ろう 作品を「批評」するためにどうすることが大切か、学習を振り返って、みんなで話し合ってみましょう。	書くこと

	少年—海	・語り手を意識して読みの幅を広げる。	言葉の力 同じ作者の他の作品と比べて、「少年」が持つ特徴について報告することができた。 考える力 「仮吉」と語り手の関係について考えることができた。 知識や技能 情景描写の役割を捉えることができた。	読むこと
群像—未来への問い	ディズニーランドという聖地	・価値観の起源を考える。 ・論理の展開の仕方捉える。	言葉の力 ディズニーの自然の考えと文明の成り立ちについて、考えを持ち、発表することができた。 考える力 ディズニーランドについての筆者の主張を捉え、現代について考えることができた。 知識や技能 説明的な文章の論理の展開の仕方捉えることができた。	読むこと
	運動会	・歴史に原因を求める方法について考える。 ・視点に着目して主張を捉える。	言葉の力 スポーツイベントについての主張を捉え、自分の考えをまとめて発表することができた。 考える力 運動会とはどのようなものか、歴史を踏まえ考えることができた。 知識や技能 文章の展開や段落構成を捉えることができた。	読むこと
	武蔵野の風景 —二次的な自然環境について	・歴史を踏まえた思考の深まりについて考える。 ・論理的表現の深め方を捉える。	言葉の力 歴史の中から発想を得る方法の利点について発表することができた。 考える力 筆者の考えを捉え、自然と環境破壊について考えることができた。 知識や技能 論理的な文章に見られる表現の特徴を捉えることができた。	読むこと
	話す・聞く 多様な意見の交差 グループディスカッション	・パネルディスカッションの方法を知り、実践する。	学習を振り返る ①パネルディスカッションの進め方を振り返る。 パネリスト、フロア、司会者の役割ごとに、それぞれ次のように観点を決めて振り返っていきましょう。 (パネリスト) ・自分の立場を明確にすることができたか。 ・説得するために有効な資料を十分に集められたか。 ・方法を工夫して主張することができたか。 ・質問に適切に答えられたか。 (フロア) ・各パネリストの発表を聞いて、共通点や相違点を理解できたか。 ・考えを深める方向の適切な質問ができたか。 (司会者) ・常に論点を明らかにしながら進行することができたか。 ②パネルディスカッションの内容を振り返る。 テーマに取り上げた内容について、自分たちの考えが深まったか、視野が広がったか、どんな成果があったか、などについて振り返りましょう。	話すこと・聞くこと
	寂しいお魚	・人間の存在にとって、他者との関係とは何かを考える。 ・寂しいという言葉の物語の構造を読み取る。	言葉の力 物語から作者に聞いてみたいことを書き、自分の予想する作者の考えを書くことができた。 考える力 「寂しい」という言葉を手掛かりに女の子を取り巻く世界について考えることができた。 知識や技能 物語の構造を捉えることができた。	読むこと
伝統—今に向かつて	歌の源流へ—万葉集・古今和歌集 新古今和歌集	・歌に詠まれた心情や情景、歌が詠まれた背景を捉える。 ・意味のまとまりや句切れに注意して音読し、暗唱する。	言葉の力 意味のまとまりや句切れに注意して音読を工夫することができた。 考える力 和歌に詠まれた心情や情景、歌の背景を捉えることができた。 知識や技能 和歌独特の表現法を知り理解を深めることができた。	読むこと
	発見する言葉—枕草子	・発見を促し感受性を上げる言葉の力を捉える。 ・言葉を共有する喜びを捉える。	言葉の力 言葉の力や言葉の共有について捉えることができた。 考える力 言葉の力や言葉の共有について体験に即して捉え直すことができた。 知識や技能 体験に即して書き、交流することができた。	読むこと
	漢詩	・詩に詠まれた心情や情景、詩が詠まれた背景を捉える。 ・詩の情景や心情を想像し、詩の展開を踏まえて音読する。	言葉の力 漢詩の展開を踏まえて音読を工夫することができた。 考える力 漢詩に詠まれた心情や情景、漢詩の背景を捉えることができた。 知識や技能 漢詩の内容や展開についての理解を生かして音読することができた。	読むこと
	言葉が見た風景 —おくのほそ道	・風景を描く言葉に込められた言語文化への思いを捉える。 ・印象深い風景が描かれた句を引用して文章を書く。	言葉の力 言語文化に対する筆者の思いを捉えて音読を工夫することができた。 考える力 描写や構成から、言語文化に対する筆者の思いを捉えることができた。 知識や技能 一節を引用して言語文化に対する筆者の思いに応える文章を書くことができた。	読むこと
	異界を捉える言葉 —遠野物語(抄)	・異界や異界と人間世界との関係を捉えた言葉に触れて、現実の奥深さを考える。 ・異界と出会った体験を想像して、音読する。	言葉の力 現実の奥深さを捉えて音読を工夫することができた。 考える力 現実の奥深さを捉えることができた。 知識や技能 現実の奥深さについての理解を生かして音読することができた。	読むこと
	書く2 あのときかもしれないエッセイを書く	・今の自分を生かしているものを見つける。		
	灯台	・時代の変化との向き合い方を考える。 ・象徴表現の特長を捉える。	言葉の力 「僕」が訪れた場所が灯台であったことの意味を捉え、発表することができた。 考える力 時代の変化との向き合い方を考えることができた。 知識や技能 短編小説の構成について捉えることができた。	読むこと

世界一世代を超えて	故郷	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と共有し得る未来への願いを考える。 ・人物や風景の変化に象徴された時代状況を捉える。 	<p>言葉の力 人々の変化にはどのような意味があるのかを考え、出し合うことができた。</p> <p>考える力 「私」の「希望」「願い」について考えることができた。</p> <p>知識や技能 他の視点から作品を捉え直すことよさを感ずることができた。</p>	読むこと
	夕空晴れて	<ul style="list-style-type: none"> ・行動を通じた世代間の関わりを考える。 ・行動に潜む深い思いを理解する方法を捉える。 	<p>言葉の力 「由美」の行動に潜む思いを考え、説明することができた。</p> <p>考える力 「神様がこしらえた野球」の意味をそれぞれの登場人物から考えることができた。</p> <p>知識や技能 題名が持つ意味について捉えることができた。</p>	読むこと
	パルルーハーバーの授業	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における人間のあり方について考える。 	<p>言葉の力 「私」の内面的変化について考え、まとめることができた。</p> <p>考える力 世界と日本の関係について考えることができた。</p> <p>知識や技能 比較することの効果について捉えることができた。</p>	読むこと
	顔の見える国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの国際協力について考える。 	<p>言葉の力 ネグロス島の協力の事例について筆者の挙げる条件に沿ってまとめることができた。</p> <p>考える力 国際協力のあり方について考えることができた。</p> <p>知識や技能 評論で用いられる語彙の意味について捉えることができた。</p>	読むこと

三省堂(3年)		目標	振り返り	領域
単元名	教材名	目標	振り返り	領域
	水のようなひと	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの効果的な使い方など、表現の工夫に注意しながら読む。 	<ul style="list-style-type: none"> □ことばの効果的な使い方など、表現の工夫に注意しながら読む。 	読むこと
学びの原をひらく	間の文化	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開の仕方に注意して、筆者の主張を読み取る。 ・事例の提示の仕方を捉え、日本と西洋の文化の違いについて自分の意見をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> □論理の展開の仕方に注意して、筆者の主張を読み取る。 □事例の提示の仕方を捉え、日本と西洋の文化の違いについて自分の意見をもつ。 	読むこと
	握手	<ul style="list-style-type: none"> ・場面設定の仕方や登場人物の描かれ方を読み取り、その人物像を的確に捉える。 ・登場人物の会話に注目し、人間関係について自分の意見をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> □場面設定の仕方や登場人物の描かれ方を読み取り、その人物像を的確に捉える。 □登場人物の会話に注目し、人間関係について自分の意見をもつ。 	読むこと
かかわりを捉える	論理の展開を工夫して、説得力をもたせる 小論文	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開や引用の仕方を工夫して、説得力のある文章を書く。 ・書いた文章を読み返し、語句の使い方、構成、引用の仕方などに注意して文章全体を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。 	書くこと
	俳句の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句のきまりや特徴を理解して、作品の内容を捉える。 ・語句の意味や表現の効果を考えながら、俳句の世界を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> □俳句のきまりや特徴を理解して、作品の内容を捉える。 □語句の意味や表現の効果を考えながら、俳句の世界を味わう。 	読むこと
ことばを磨く	句会をひらこう	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの作品についての意見や感想、評価を活発に交流できるように進行の仕方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの作品に表れた、作者の感性や考え方を発見しながら、句会を楽しみましたか。 	話すこと・聞くこと
	状況に応じて話す力を養うブックトーク	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考え方を深めたり、表現に生かしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。 	話すこと・聞くこと
多角的に考える	フロン規制の物語—(紀震)と(転ばぬ先の杖)のはざまで—	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の展開の仕方や、小見出しのつけ方などについて、その意図や効果捉える。 ・「科学技術の発達」に対する筆者の見方・考え方を捉え、自分の考えを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> □文章の展開の仕方や、小見出しのつけ方などについて、その意図や効果捉える。 □「科学技術の発達」に対する筆者の見方・考え方を捉え、自分の考えを広げる。 	読むこと
	合意を形成し、課題を解決する企画会議	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中から話題を決め、経験や知識を整理しながら、表現を工夫し、説得力のある発言をする。 ・課題の解決に向けて、互いの考えを生かしたり調整したりできるように進行の仕方を工夫して、話し合いを効果的に展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。 	話すこと・聞くこと
古典に学ぶ	和歌の世界—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌に詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。 ・和歌の形式や表現の特徴を捉え、その効果について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> □和歌に詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。 □和歌の形式や表現の特徴を捉え、その効果について理解する。 	読むこと
	おのほそ道	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して、古文を読み、作者のもの見方や考え方を捉える。 ・古文の優れた表現や文体の特徴に着目しながら、作品を読み深める。 	<ul style="list-style-type: none"> □歴史的背景などに注意して、古文を読み、作者のもの見方や考え方を捉える。 □古文の優れた表現や文体の特徴に着目しながら、作品を読み深める。 	読むこと
	論語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のもの見方や考え方を捉える。 ・「論語」のことばをきっかけにして、人間の生き方について自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> □漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のもの見方や考え方を捉える。 □「論語」のことばをきっかけにして、人間の生き方について自分の考えをもつ。 	読むこと
	情報社会を生きる—メディア・リテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ・文章中における語句の効果的な使い方を捉える。 ・文章の構成や表現の仕方について読み取り、評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> □文章中における語句の効果的な使い方を捉える。 □文章の構成や表現の仕方について読み取り、評価する。 	読むこと
情報を読み解く	観察や分析をおとして、判断する 批評文	<ul style="list-style-type: none"> ・取材や分析をおして課題に対する自分の立場や考えを定め、論理展開が明確な文章構成を工夫して書く。 ・書いた文章を互いに評価し合うことにより、表現をよりよいものに高め、もの見方や考え方を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。 	書くこと
	初恋	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の形式をふまえて朗読し、描かれている思いを捉える。 ・表現の特徴とその効果を理解し、初恋の心情を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> □詩の形式をふまえて朗読し、描かれている思いを捉える。 □表現の特徴とその効果を理解し、初恋の心情を味わう。 	読むこと
読みを深め合う	故郷	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や登場人物の設定の仕方を捉え、内容の理解に役立てる。 ・「私」と「閑土」の言動を根拠としながら、人間と社会について自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> □場面や登場人物の設定の仕方を捉え、内容の理解に役立てる。 □「私」と「閑土」の言動を根拠としながら、人間と社会について自分の考えをもつ。 	読むこと
	漢字一字で表現すると	<ul style="list-style-type: none"> ・書かれたものに表れたそれぞれの個性を味わいながら、もの見方や考え方を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字をおして自分を見つめ直すことにより新しい気づきがありましたか。 	書くこと
広がる世界へ	「文殊の知恵」の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を捉え、身近な例や報道の例に目を向けながら内容を理解する。 ・文章を読んで、これからの社会について考え、自分の意見をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> □筆者の主張を捉え、身近な例や報道の例に目を向けながら内容を理解する。 □文章を読んで、これからの社会について考え、自分の意見をもつ。 	読むこと
	問いをもとに語り合う ワールドカフェ	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に応じてわかりやすい表現を使ったり、聞き手に問いかけたりしながら、その場の全員で理解を深めていくことができるように話す。 ・互いの思いや考えを生かしながら、課題について深く考えたり、新しい価値を創造したりするような話し合いの場を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標をもう一度確認しながら学習を振り返りましょう。 	話すこと・聞くこと
	坊っちゃん	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の使われ方に注意して読み、表現の仕方について評価する。 ・作品をきっかけとして、同じ作者の本や文章などを読み、考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> □語句の使われ方に注意して読み、表現の仕方について評価する。 □作品をきっかけとして、同じ作者の本や文章などを読み、考えを深める。 	読むこと
	中学校生活を振り返って名言集	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取った内容を判断したり評価したりして、自分のもの見方や考え方を深める。 ・目的や課題に応じて文章を集め、効果的な形態を選び、適切な構成を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。 	話すこと・書くこと